本文

官報 第七千三百三十八號 明治四十年十二月十二日 木曜日 印刷局

○達

陸達第八十一號

明治三十五年陸達第二十一號陸軍簿表規程中左ノ通改正ス

明治四十年十二月十二日　陸軍大臣　子爵寺内正毅

第二條第二十七ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

第二十八　復舊工事前後設計及經費比較表　（樣式第二十五）

樣式第十二ヲ左ノ如ク改ム

樣式第二十五　（用紙美濃紙）

△印ハ朱書

何隊何々火災（風水害等）復舊工事前後設計及經費比較表

符號	名稱	構造	寸法 間尺寸	數量	積量	單位 稱呼	單價 圓	小計 圓
新								
何號隊	第何大（中）尺舍	何造何層家軒高地盤ヨリ桁上端迄何軒出何尺內部何外部何屋根何々葺	間尺寸	數量又ハ建坪	積量	單位稱呼	單價	小計
同	何々		〃	〃	〃	〃	〃	〃
計								
舊								
何號隊	第何大（中）尺舍	何造何層家軒高地盤ヨリ桁上端迄何軒出何尺內部何外部何屋根何々葺	間尺寸	數量又ハ建坪	積量	單位稱呼	單價 圓	小計 圓
同	何々		〃	〃	〃	〃	〃	〃
計								

注意　新舊對照上構造寸法等符合セサルトキ竝價格ノ相違セルモノハ其ノ理由ヲ詳記スルヲ要ス

樣式第十二　（用紙美濃紙）

△印ハ朱書

何新營（改築、增築）工事經費仕譯書

總計金何萬何千圓

△外ニ金何百何拾圓

△官材使用見積價格

內譯

名稱	構造	寸法 間尺寸	數量	積量	單位稱呼	單價 圓	小計 圓
兵舍	木造二層家	五〇〇 八〇〇	一棟	四〇〇〇〇	坪	一三〇〇〇 △五五〇〇	五二〇〇〇〇〇 △六〇〇〇〇〇
炮廚浴室	煉瓦平家造	三〇〇〇 五〇〇〇	一棟	一五〇〇〇	同	一二〇〇〇	一八〇〇〇〇〇
厠	木造	一二〇〇	一棟	二四〇〇	同	八〇〇〇	一九二〇〇〇
表門	煉瓦鐵柱	一二〇〇	一		箇所	四〇〇〇〇	四〇〇〇〇
裏門	煉瓦木製柱	高一二〇 幅員法一三〇	一		同	二八〇〇〇	二八〇〇〇
外周土塀	筋付芝植殺	高一〇〇 延長二一〇	二三五〇〇		間	一三〇〇〇	三〇五五〇〇〇
同木柵	木造又ハ板打	高一〇〇	二三五〇〇		同	八〇〇〇 △四七〇〇	一八八〇〇〇 △四七〇〇〇
構外排水溝	雨側檢知石敷 底煉瓦敷	上幅一五 下幅一二五	三五〇〇〇		同	一〇〇〇〇	三五〇〇〇〇
計							八一〇三五〇〇〇 △一〇七〇〇〇〇

名稱	構造	寸法 間尺寸	數量	積量	單位稱呼	單價 圓	小計 圓
構內排水暗溝	土管	角徑 〇八	一五〇〇〇		間	二五〇	三七五〇〇〇
地平均			四二〇〇〇〇〇		坪	〇一二〇	五〇四〇〇〇
何々							
何々							
何々							

第7338号

注意　官材ヲ使用スル場合ハ単位小計ヲ欄内ニ朱書スヘシ

陸達第八十二號

近衛師團ニ於テ演習召集及教育召集ヲ施行スヘキ者左ノ通定ム

明治四十年十二月十二日　陸軍大臣　子爵寺内正毅

一、第一、第十四師管ニ在籍スル補充兵ニシテ戰時近衛師團ノ要員ニ充ツヘキ者ハ近衛師團ニ於テ教育ヲ爲サシム但シ鐵道聯隊、電信大隊、氣球隊ノ要員ニ充ツヘキ者ハ各師管在籍者トモ當該諸隊ニ於テ教育ヲ爲サシム

二、第一、第十四師管ニ在籍ノ者ニシテ近衛師團ニ於テ現役ヲ終リタル豫備役後備役將校同相當官准士官下士兵卒及近衛師團ニ於テ教育ヲ受ケタル補充兵ハ近衛師團ニ於テ勤務演習ヲ爲サシム但シ鐵道聯隊、電信大隊、氣球隊ニ於テ現役ヲ終リタル者（各部ノ將校相當官及同諸隊ニ於テ教育ヲ受ケタル補充兵ハ各師管在籍者トモ當該諸隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サシム）

三、豫備役後備役工兵科士官准士官下士兵卒中舊電信教導大隊及工兵大隊ニ於テ電信術ヲ修業シタル者ハ電信大隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サシム

四、本郷聯隊區、甲府聯隊區管區內（山梨縣ヲ除ク）ニ寄留シ第一師管ニ於テ勤務演習ヲ爲サムトスル者アルトキハ近衛師團ニ於テ勤務演習ヲ爲サシム

附則

明治三十二年陸達第二十八號ハ之ヲ廢止ス

○告示

内務省告示第百二十八號

一明治四十一年九星早見　全一册　大阪市東區高麗橋二丁目九番屋敷　高山安太郎　發行

右出版物ハ略本暦類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治四十年十二月十二日　内務大臣　原敬

大藏省告示第二百八號

煙草專賣法第六條ニ依リ明治四十一年七月一日ヨリ明治四十二年六月三十日迄ノ間ニ收納スル葉煙草ノ賠償價格左表ノ通相定メ之ニ相當スル標本ハ專賣局收納所ニ設備ス

賠償價格ニ掲ケサル品類ノ葉煙草ヲ納付シタルトキハ本表ニ掲ケタル葉煙草ニ準シ相當賠償價格ヲ定ム

明治四十年十二月十二日　大藏大臣　法學博士男爵阪谷芳郎

葉煙草賠償價格表

等級	一貫目當賠償價格	
特等	四〇・四〇	蟲不喰葉聯干
優等	三八・三〇	丸米葉聯干
一等	二八・三〇	專賣局仙臺收納所管內產川原葉聯干
二等	一八・四〇	東山葉聯干
三等	一〇・〇〇	南部葉聯干
四等	一〇・七〇	三戸葉聯干
五等	一〇・一四	專賣局小出張收納所管內產葉火干
六等	一〇・二〇	蒲館葉火干
七等	一〇・〇〇	原葉火干
八等	九〇〇	關原葉火干
九等	八〇〇	赤堀葉聯干
十等	七〇〇	坂葉聯干
十一等	六〇〇	生葉聯干
十二等	五〇〇	小出張葉聯干
十三等	四〇〇	專賣局泰野收納所管內產泰野葉聯干
十四等	三〇〇	專賣局名古屋收納所管內產大草葉聯干
十五等	二〇〇	遠州葉聯干
十六等	一〇〇	鄙葉聯干
專賣局東京收納所管內產桐ヶ作葉聯干		蒲上葉聯干
蓮華葉聯干		地葉聯干
沼田葉聯干		米國種火干
龍王葉聯干		清內路葉火干
三浦葉聯干		專賣局金澤收納所管內產丸葉聯干
專賣局水戸收納所管內產		山葉聯干
逢摩葉聯干		柳葉聯干
逢摩葉聯干		專賣局大阪收納所管內產新田葉聯干
國府葉聯干		野葉聯干
國府葉聯干		陀葉聯干
專賣局淺草收納所管內產		宇吉葉聯干
逢摩葉聯干		國分葉聯干
逢摩葉聯干		宮崎葉聯干
專賣局三春收納所管內產		專賣局鹿兒島收納所管內產丸葉聯干
松川葉聯干		高千穗葉聯干
松川葉聯干		竹田葉聯干
會津葉聯干		出水葉聯干
會津葉聯干		指宿葉聯干
水戸葉聯干		丸米葉聯干
專賣局仙臺收納所管內產丸米葉聯干		專賣局高瀨收納所管內產丸葉聯干
川原葉聯干		作州葉火干
川原葉聯干		チシヤ葉聯干
山葉聯干		米子葉聯干
南部葉火干		日野葉火干
三戸葉聯干		八東葉聯干
專賣局小出張收納所管內產蒲館葉火干		專賣局府中收納所管內產東城葉聯干
原葉火干		備後葉聯干
關原葉火干		專賣局尾道收納所管內產米子葉聯干
赤堀葉聯干		三原葉聯干
坂葉聯干		米國葉火干
生葉聯干		專賣局池田收納所管內產阿波葉聯干
小出張葉聯干		櫻樹葉聯干
專賣局泰野收納所管內產泰野葉聯干		砥部葉聯干
專賣局名古屋收納所管內產大草葉聯干		大洲葉聯干
遠州葉聯干		專賣局熊本收納所管內產赤隆葉聯干
鄙葉聯干		上隈葉聯干
蒲上葉聯干		日隈葉聯干
地葉聯干		黑蘇葉聯干
米國種火干		阿吉葉聯干
清內路葉火干		人吉葉聯干
專賣局金澤收納所管內產丸葉聯干		丸葉聯干
山葉聯干		竹田葉聯干
柳葉聯干		高千穗葉聯干
專賣局大阪收納所管內產新田葉聯干		專賣局鹿兒島收納所管內產丸葉聯干
野葉聯干		宮崎葉聯干
陀葉聯干		國分葉聯干
宇吉葉聯干		出水葉聯干
國分葉聯干		指宿葉聯干
中葉聯干		丸米葉聯干
丸米葉聯干		專賣局高瀨收納所管內產丸葉聯干
劍先葉聯干		作州葉火干
米國種火干		チシヤ葉聯干
專賣局高瀨收納所管內產丸葉聯干		米子葉聯干
作州葉火干		日野葉火干
チシヤ葉聯干		八東葉聯干
米子葉聯干		專賣局府中收納所管內產東城葉聯干
日野葉火干		備後葉聯干
八東葉聯干		專賣局尾道收納所管內產米子葉聯干
專賣局府中收納所管內產東城葉聯干		三原葉聯干
備後葉聯干		米國葉火干
專賣局尾道收納所管內產米子葉聯干		專賣局池田收納所管內產阿波葉聯干
三原葉聯干		櫻樹葉聯干
米國葉火干		砥部葉聯干
專賣局池田收納所管內產阿波葉聯干		大洲葉聯干
櫻樹葉聯干		專賣局熊本收納所管內產赤隆葉聯干
砥部葉聯干		上隈葉聯干
大洲葉聯干		日隈葉聯干
專賣局熊本收納所管內產赤隆葉聯干		黑蘇葉聯干
上隈葉聯干		阿吉葉聯干
日隈葉聯干		人吉葉聯干
黑蘇葉聯干		丸葉聯干
阿吉葉聯干		竹田葉聯干
人吉葉聯干		高千穗葉聯干
丸葉聯干		專賣局鹿兒島收納所管內產宮崎葉聯干
宮崎葉聯干		國分葉聯干
國分葉聯干		出水葉聯干
出水葉聯干		指宿葉聯干
指宿葉聯干		丸米葉聯干
丸米葉聯干		專賣局高瀨收納所管內產丸葉聯干
專賣局高瀨收納所管內產丸葉聯干		作州葉火干
作州葉火干		チシヤ葉聯干
チシヤ葉聯干		米子葉聯干
米子葉聯干		日野葉火干
日野葉火干		八東葉聯干
八東葉聯干		專賣局府中收納所管內產東城葉聯干
專賣局府中收納所管內產東城葉聯干		備後葉聯干
備後葉聯干		專賣局尾道收納所管內產米子葉聯干
專賣局尾道收納所管內產米子葉聯干		三原葉聯干
三原葉聯干		米國葉火干
米國葉火干		專賣局池田收納所管內產阿波葉聯干
專賣局池田收納所管內產阿波葉聯干		櫻樹葉聯干
櫻樹葉聯干		砥部葉聯干
砥部葉聯干		大洲葉聯干
大洲葉聯干		專賣局熊本收納所管內產赤隆葉聯干
專賣局熊本收納所管內產赤隆葉聯干		上隈葉聯干
上隈葉聯干		日隈葉聯干
日隈葉聯干		黑蘇葉聯干
黑蘇葉聯干		阿吉葉聯干
阿吉葉聯干		人吉葉聯干
人吉葉聯干		丸葉聯干
丸葉聯干		竹田葉聯干
竹田葉聯干		高千穗葉聯干
高千穗葉聯干		專賣局鹿兒島收納所管內產宮崎葉聯干
專賣局鹿兒島收納所管內產

同「ジブラルター」ノ項ヲ左ノ通改ム

「ジブラルター」(Gibraltar)　巴羅歐(Europe)　ク

在外國英國郵便局ノ各項ヲ左ノ通改ム

在外國英國郵便局
(British Postal Agencies abroad:)

「カサブランカ」(Casablanca)	モロコ(Morocco)	ク	ク
「フェズ」(Fez)	モロコ(Morocco)	ク	ク
「ララーシュ」又ハ「アレーシュ」(Larache, or Larache)	モロコ(Morocco)	ク	ク
「マザガン」(Mazagan)	モロコ(Morocco)	ク	ク
「モガドール」(Mogador)	モロコ(Morocco)	ク	ク
「ラバット」(Rabat)	モロコ(Morocco)	ク	ク
「サフィー」(Saffi)	モロコ(Morocco)	ク	ク
「タンジール」(Tangier)	モロコ(Morocco)	ク	ク
「テトワーン」(Tetuan)	モロコ(Morocco)	ク	ク
「パナマ」(Panama)	巴奈馬共和國(Panama, the Republic of)	ク	ク
「ベールート」(Beyrout or Beirut)	土耳古亞細亞(Turkey in Asia)	ク	ク
「スミルナ」(Smyrna)	土耳古亞細亞(Turkey in Asia)	ク	ク
「コンスタンチノープル」(Constantinople)	土耳古巴羅歐(Turkey in Europe)	ク	ク
「サロニカ」(Salonica)	土耳古巴羅歐(Turkey in Europe)	ク	ク

遞信省告示第八百二十號

關東半島大連灣內大連防波堤西端浮標ハ黑色ニ變更セリ

明治四十年十二月十二日　遞信大臣　山縣伊三郎

正誤

去月三十日司法省告示第七十一號六七九頁上段年度五行明治十七年自一月ハ明治十七年至十二月ハ自八月ノ誤

本年十月九日農商務省告示第二百號六行「二一〇ノ二ハ一二一〇ノ」第二ノ誤　本月三日同告示第二百二十八號三四頁下段二行ノ次ニ左ノ一行ヲ脫ス　八百六二一ノ內六八三五　同

同　同　本社通生　本社八幡宮上地　農商務書記官

○敍任及辭令

○明治四十年十二月十一日

任宮中顧問官敍高等官一等　東宮大夫正三位勳一等侯爵　中山孝麿

兼任東宮大夫

敍高等官一等　東宮武官長陸軍中將從四位勳二等功四級男爵　村木雅美

陞敍高等官三等　千葉縣技師正六位勳五等　石山騰太郎

陞敍高等官四等　岐阜縣技師從六位　宇都宮寬

陞敍高等官五等　京都府技師正七位　寺崎新策

陞敍高等官六等　京都府警視從七位勳五等　佐伯善之丞

陞敍高等官六等　山梨縣技師從七位　川添龜之進

陞敍高等官六等　山梨縣東八代郡長從七位勳六等　長田章

陞敍高等官六等　長野縣上高井郡長從七位勳六等　樋口兼泰

陞敍高等官六等　島根縣仁多郡長從七位勳八等　藤田幸年

陞敍高等官六等　愛媛縣喜多郡長從七位勳六等　植田延太郎

陞敍高等官六等　高知縣技師從七位　田村利親

陞敍高等官七等　新潟縣技師正八位　葛畑金助

陞敍高等官七等　岐阜縣技師正八位　寺田六郎

陞敍高等官七等　長野縣技師正八位　江畑猷之允

陞敍高等官七等　秋田縣警視正八位　高根爲吉

香川縣水產試驗場技師ニ任ス　從七位　稻浦直治

賜三級俸

紐育在勤ヲ命ス（以上十二月外務省）

一級俸下賜（各通）

總領事　水野幸吉

總領事　水野幸吉

福井縣遠敷郡長　近藤直一

福井縣丹生郡長　藤野了介

福井縣大飯郡長　三國貞五郎

福井縣警視　坂田正彥

三級俸下賜（各通）

福井縣遠敷郡長　和田見龍

福井縣丹生郡長　大津政布

福井縣南條郡長　內田信保

四級俸下賜（各通）

福井縣大野郡長　橫山襄

福井縣事務官補　青木秀昇

五級俸下賜（各通）

神奈川縣足柄上郡長　菊池芳二

福井縣三方郡長　佐々木武介

福井縣大飯郡長　木下參一

福井縣警視　上山英吉

福井縣警視　山本外茂次郎

六級俸下賜

補福井警察署長

補敦賀警察署長（以上十二月內務省）

（各通）

福井縣警視　上山英吉

福井縣警視　山本外茂次郎

新潟縣知事伯爵　清棲家敎

埼玉縣知事　大久保利武

奈良縣知事　川路利恭

宮城縣知事　龜井英三郎

岡山縣知事　寺田祐之

高知縣知事　鈴木定直

一級俸下賜（各通）

福島縣知事　平岡定太郎

山形縣知事　馬淵銳太郎

富山縣知事　川上親晴

鳥取縣知事　山田新一郎

德島縣知事　谷口留五郎

宮崎縣知事　永井環

二級俸下賜（各通）

栃木縣事務官　深町錄太郎

宮城縣事務官　西村陸奧夫

島根縣事務官　藤本充安

長崎縣事務官　秦豐助

群馬縣事務官　相良步

長野縣事務官　岡田宇之助

宮城縣事務官　下條幸次郎

鹿兒島縣事務官　橋本正治

新潟縣事務官　林俊太郎

宮崎縣事務官　三橋得三

香川縣事務官　神西由太郎

滋賀縣事務官　塚本清治

鳥取縣事務官　川越壯介

熊本縣事務官　豐島愿

兵庫縣事務官　赤池濃

神奈川縣事務官　坂田幹太

群馬縣事務官　飯田盛敏

靜岡縣事務官　東園基光

福井縣事務官　信太時尙

三重縣事務官　田中次郎

島根縣事務官　本間則忠

山形縣事務官　玄角仲藏

岡山縣事務官　佐竹義文

栃木縣事務官　阿部龜彥

神奈川縣事務官　堀田貫

千葉縣事務官　阿部壽準

奈良縣事務官　池田宏

嚴手縣事務官　田中喜介

石川縣事務官　青木戒三

鹿兒島縣事務官　富永鴻

茨城縣事務官　岩田衞

和歌山縣事務官　柴田善三郎

滋賀縣事務官　馬渡俊雄

福島縣事務官　藤堂要藏

長野縣事務官　立花俊吉

年俸九百圓下賜

一級俸下賜　兵庫縣港務長　藤井治三郎

二級俸下賜　長崎縣港務長　錦織幹

五級俸下賜　岡山縣警視　稻原龜太郎

九級俸下賜　岐阜縣技師　脇田重太郎

三級俸下賜（以上十二月同）　國幣中社玉前神社宮司　園田弘

第 7338 号

故陸軍歩兵中尉岡作次明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金七百圓ヲ賜フ

兵庫縣神崎郡鮎津村千三百四十番地 岡 小十郎

大阪府南河内郡千早村大字中津原七番屋敷 尾花 キセ

故陸軍一等看護長尾花信之助明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百八拾圓ヲ賜フ（以上十二月陸軍省）

山梨縣東山梨郡勝沼町三千二百五十四番地 小澤 ちか

故陸軍歩兵少尉小澤成三明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金千百圓ヲ賜フ

宮城縣本吉郡横山村大字南澤小字地志貝五十一番地 佐々木たけ

故陸軍歩兵一等卒佐々木市次郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ

千葉縣安房郡佐久間村大字イ千六百四十三番地 大胡 才二

故陸軍騎兵一等卒大胡桂一郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ

茨城縣西茨城郡北那珂村大字平澤三十六番地 大橋甚兵衛

故陸軍歩兵二等卒大橋義丸明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ

千葉縣海上郡飯岡町下永井五百八十三番地 木村 長吉

故陸軍砲兵二等卒木村由松明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ

岡山縣都窪郡大高村大字福井百六十七番地 田中 壽吉

故陸軍歩兵上等兵田中長平明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百參拾圓ヲ賜フ

大阪市南區瓦屋町四番丁四十一番地 中野 よ組

故陸軍歩兵二等卒中野幸太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ（以上十二月同）

兵庫縣津名郡安乎村ノ内豐秋村七十二番屋敷 富田 きみ

故陸軍歩兵一等卒富田市藏明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ

愛媛縣西宇和郡双岩村大字中津川四番耕地三百七十七番地 菊池 長松

故陸軍歩兵一等卒菊池松藏明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ

高知縣高岡郡斗賀野村東組二百七十七番屋敷 眞邊 惣次

故陸軍工兵一等卒眞邊勝已明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ

巖手縣下閉伊郡鍬ケ崎町下町百八十九番戸 龜田多兵衛

故陸軍歩兵二等卒龜田多七明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ

福岡縣宗像郡赤間町大字陵嚴寺三百六番地 的場 ハル

故陸軍歩兵二等卒的場代作明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ

故陸軍輜重輸卒宇佐美善吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ（以上十二月同）

靜岡縣富士郡白糸村半野五十三番地 宇佐美保太郎

陸軍騎兵大尉勳一等功五級 恆久王

陸軍歩兵大尉 倉島富次郎
陸軍歩兵大尉 神村正斌
陸軍工兵大尉 長尾穩次
陸軍砲兵大尉 山本定房
陸軍歩兵大尉 馬場鎭江
陸軍砲兵大尉 記錄勇助
陸軍歩兵大尉 小澤寅吉
陸軍歩兵大尉 淺田良邇
陸軍歩兵大尉 水町竹三
陸軍歩兵大尉 井上繁
陸軍歩兵大尉 厚東篤太郎
陸軍歩兵大尉 森脇竹一
陸軍歩兵大尉 伊藤眞鋒
陸軍砲兵大尉 藤竹信之
陸軍歩兵大尉 增田民之助
陸軍歩兵大尉 岩尾惟文
陸軍砲兵大尉 林政次郎
陸軍歩兵大尉 星埜文一郎
陸軍工兵大尉 若山善太郎
陸軍歩兵大尉 島田貞一
陸軍砲兵大尉 八部九八郎
陸軍騎兵大尉 佐藤榮樹
陸軍騎兵大尉 川崎次郎
陸軍砲兵大尉 渡邊貞三
陸軍歩兵大尉 杉山元
陸軍砲兵大尉 畑俊六
陸軍歩兵大尉 毛內靖胤
陸軍歩兵大尉 岩倉正雄
陸軍歩兵大尉 深見新之助
陸軍歩兵大尉 山本松雄
陸軍歩兵大尉 小倉可夫
陸軍砲兵大尉 厚東芳次郎
陸軍歩兵大尉 能村修
陸軍歩兵大尉 能村久次郎
陸軍歩兵大尉 小磯國昭
陸軍歩兵大尉 二宮治重
陸軍歩兵大尉 香川俊一
陸軍砲兵大尉 中根壽郎

（各通）

陸軍大學校ヘ入學ヲ命ス（十二月同）

御用有之秋田縣下ヘ出張ヲ命ス

騎兵第十五聯隊附陸軍一等獸醫 松田庄松

御用有之埼玉茨城千葉栃木長野五縣下ヘ出張ヲ命ス

陸軍獸醫學校副官兼同校教官陸軍一等獸醫 林里次

御用有之山口縣下ヘ出張ヲ命ス（以上十二月同）

免本職竝兼職補關東丸指揮官

休職被仰付 但横須賀ニ滯在スヘシ

休職被仰付

兼補水路部圖誌科科員（以上十二月海軍省）

仙臺地方裁判所判事 鳩ケ谷清一郎
弘前區裁判所判事判事 鳩ケ谷清一郎
弘前區裁判所監督ヲ命ス
弘前區裁判所判事判事 鳩ケ谷清一郎
高松區裁判所判事判事 田中義質
東京區裁判所檢事檢事 原夫次郎

（各通）

退職ヲ命ス（以上十二月司法省）

學術上取調ノ爲韓馬縣下ヘ出張ヲ命ス 東京帝國大學理科大學教授理學博士 橫山又次郎

學術上取調ノ爲福岡縣下ヘ出張ヲ命ス 東京帝國大學理科大學教授理學博士 橫山又次郎

陸軍騎兵大尉 梅崎延太郎
陸軍砲兵大尉 大江曠雄
陸軍歩兵大尉 友森鑾治郎
陸軍歩兵中尉 三宅光治
陸軍歩兵中尉 福井重記
陸軍歩兵中尉 廣瀨猛
陸軍歩兵中尉 羽藤辰一
陸軍歩兵中尉 中村濱作
陸軍歩兵中尉 清水喜重
陸軍騎兵中尉 橋本虎之助
陸軍歩兵中尉 西尾壽造
陸軍輜重兵中尉 飯田恆次郎
陸軍歩兵中尉 兒玉友雄
陸軍歩兵中尉 武田頴三
陸軍歩兵中尉 森下千一
陸軍歩兵中尉 野木武一
陸軍歩兵中尉 角田政之助
陸軍歩兵中尉 三毛一夫
陸軍歩兵中尉 岩橋次郎
陸軍歩兵中尉 山崎定義
陸軍歩兵中尉 長谷部照悟
陸軍騎兵少尉 土屋義幹

陸軍衛生材料廠員陸軍一等獸醫 北里龜太郎

水路部測量科科員海軍中佐 上野亮

水路部圖誌科科員海軍少佐 峰邈平

水路部測量科科員 和田勇二

學術實地指導ノ爲京都、大阪ノ二府及兵庫縣下ヘ出張ヲ命ス

東京帝國大學工科大學助教授 宇佐美桂一郎

學術上取調ノ爲靜岡縣下ヘ出張ヲ命ス（以上十二月東京帝國大學農科大學助教授 原 熙

東京帝國大學農科大學助教授 荒木寅三郎

福岡醫科大學ヘ出張ヲ命ス（九日）京都帝國大學教授醫學博士

鹿兒島大林區署經理課長兼務ヲ免ス

鹿兒島大林區署在勤ヲ命ス

鹿兒島大林區署經理課長ヲ命ス

茨城縣農事試驗場長ヲ命ス

茨城縣農事試驗場技師 本多菊吉

茨城縣農事講習所長ヲ命ス（以上十二月農商務省）

茨城縣農事講習所技師 本多菊吉

十級俸 貳拾四當分七百下賜

兵庫縣立第一神戸中學校教諭 望月信治

十級俸下賜（以上十一月兵庫縣）

兵庫縣立神戸高等學校教諭 原口亮平

八級俸下賜 但當分年俸九百六十圓支給（九日）新潟縣

新潟縣高田師範學校教諭 中山文雄

正誤

本月四日本欄五九頁上段小林すいノ辭令文中五拾圓ハ五四〇ノ報告誤

陸軍省副官

○宮廷錄事

○御神樂次第

本月十六日御神樂次第左ノ如シ

御神樂次第

午後第四時御殿ノ御裝飾ヲ奉仕ス

同第四時三十分式部職官員著床

次 賢所 皇靈殿 神殿開扉

此間奏樂

次神饌ヲ供ス

此間奏樂

同第五時

出御

先 皇親王王大臣樞密顧問長各一同各禮勤任官一名宛著床

賢所ヘ御玉串ヲ奉リ給ヒ 御陪御告文ヲ奏シ給フ（如前）

次 皇靈殿ヘ御玉串ヲ奉リ給ヒ 御陪御告文ヲ奏シ給フ

次 神殿ヘ御玉串ヲ奉リ給ヒ 御陪御告文ヲ奏シ給フ

此間著床ノ諸員起ツ

次 皇后陛下 皇靈殿 神殿ヘ御玉串ヲ奉リ給ヒ御陪

賢所 入御

舉テ

此間著床ノ諸員起ツ

次 皇太子殿下 皇靈殿 神殿ヘ御玉串ヲ奉リ給ヒ 御陪

賢所 舉テ御退下

此間著床ノ諸員起ツ

次 皇太子妃殿下 皇靈殿 神殿ヘ御玉串ヲ奉リ給ヒ 御陪

賢所 舉テ御退下

此間著床ノ諸員起ツ

次親王王大臣樞密顧問長各一同各禮勤任官一名宛著床ノ宮內省奏任官陪禮

次掛物任官陪禮

次掌典賢木ノ枝ヲ執テ人長ニ授ク

次御神樂

次御神樂畢テ人長賢木ノ枝ヲ掌典ニ授ス掌典之ヲ執テ直ニ獻上

次神饌ヲ撤ス

此間奏樂

次開扉

此間奏樂

次各退出

特 7338 号

○拜謁竝賢所參拜　軍艦筑波及千歳ノ兩艦歐米ヘ回航中ノ處今般歸朝ニ付キ伊集院海軍大將ハ海軍大佐竹內平太郎、同山屋他人、同竹下勇、海軍主計中監藤野理吉、海軍軍醫中監矢野清史、海軍機關中佐大沼龍太郎、海軍少佐伯爵佐野常羽、海軍少佐竹村佳吾、同金丸清緝、海軍機關少佐市原琢寧、海軍大尉山本信次郎、同高橋節雄、海軍大軍醫小林幹、海軍大尉森初次、同天野六郎、海軍大軍醫佐々木喜右衛門、海軍機關大尉高津黃徹男、海軍大尉安東昌喬、海軍機關大尉松原彥七、海軍大主計具島得眞、海軍大尉廣瀨哲、海軍中尉植村茂夫、同中村有年、海軍機關中尉戶田信行、海軍中尉堀悌吉、同瀨崎仁平、同高橋雄三郎、海軍兵曹長岩川嘉邇、海軍機關兵曹長大場德松、海軍軍樂長瀨戶口藤吉、海軍兵曹長岩城庄吉、同三角善太郎ハ昨十一日午前十時三十分拜謁竝ニ賢所參拜仰付ケラレ同行ノ海軍上等兵曹八頭司德一郎以下百三十四名ハ同時賢所參拜仰付ケラレタリ

○彙報

○官廳事項

○ニカラガ共和國海牙宣言中加盟　ニカラガ共和國政府ハ千八百九十九年七月二十九日ノ海牙宣言中入ル容易ニ開展シ又ハ屬平ト爲ル中ヘキ張丸使用禁止ノ宣言及毒質瓦斯散布ヲ目的トスル投射物使用禁止ノ宣言ニ加盟スヘキ旨本年十月十一日附ヲ以テ和蘭國外務省ニ通知アリタル旨本邦駐箚和蘭國公使ヨリ通牒アリタリ

○官吏發著　御料局御岡支廳長伊藤重介、同支廳在勤同局技師佐々木和藏ハ本月一日、同局木曾支廳在勤同局技師田中勇矢郎ハ同二日、同局名古屋支廳長磯山廣居ハ同三日孰モ上京ス內苑局技師小平義近ハ昨十一日出發埼玉、千葉、群馬、栃木四縣下ヘ出張セリ

津川歩兵第八旅團長ハ地理實査竝ニ歩兵第四十聯隊巡視ノタメ海城、遼陽、奉天地方ニ向ヒ本月四日、仙波歩兵第十八旅團長ハ教育視察ノタメ大津歩兵第九聯隊ニ向ヒ同八日孰モ出發ス

○陸軍大將侯爵大山巖ハ本月十一日、京都府山科地方ヘ出張ノ第十六師團參謀長宮崎茂文ハ同七日歸著セリ

判決

○行政裁判所判決　所得金額決定不服ノ訴ニ對シ去月二十九日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ

明治四十年第二七號

訴訟費用ハ之ヲ折半シ原告被告各其一半ヲ負擔スヘシ

事實

原告事實上供述ノ要旨ハ原告ハ明治三十九年分第三種所得金額ヲ金三百十九圓七十七錢トシテ稅務署ヘ屆出タルニ青森稅務署長ハ之ヲ千六百八十五圓五十錢ト決定セルコトヲ通知シタルニヨリ原告ハ異議ヲ申立テ審査ヲ求メタルニ更ニ之ヲ增加シテ千七百四圓三十八錢ト決定シタリ是レ全ク原告ハ當時者間ノ明治四十年第二七號所得金額決定ニ對スル不服ノ行政訴訟審理判決スルコト左ノ如シ

青森縣東津輕郡大野村大字大野三十四番戶
原告　原子　彥太郎
被告　秋田稅務監督局長　岡村　正市
右訴訟代理人　稅務監督局事務官　勝浦　守次

主文

被告ヲ原告ニ對シ爲シタル明治三十九年度原告所得金額千七百四圓三十八錢ノ決定ハ之ヲ取消ス

明治四十年十二月七日官報遞信省告示第八〇二號ヲ注視スヘシ

第五九九二項

海軍海圖第一九七號日本水路誌第四卷一三九頁ニ一時關係ス

九州西岸　長崎港

第四號槳船浮標ノ一時撤去

長崎縣務部ノ通知明治四十年十二月五日ニ據レハ長崎港內槳船浮標ノ內第四號浮標ハ修繕ノ爲メ一時撤去セリト云フ

概位　北緯三二度四四分二秒　東經一二九度五一分二九秒

第五九九三項

日本水路誌第二卷三一五頁ニ關係ス

南西諸島

ピショップ岩ノ不存在

最近ノ調査ニ據レハ南西諸島南大東島ノ南方約三十四浬ニアルピショップ岩ハ存在セス

依テ誌中ノ記事ヲ削除ス

概位　北緯二五度二〇分　東經一三一度一五分

第五九九四項

記事改正

最近ノ調査ニ據リ日本水路誌第五卷二七一頁鷗島燈臺記事中北一一度西ヨリ北東、南ヲ經テ南七九度西ニ至ル間トアルヲ北一三度東ヨリ東、南、西ヲ經テ北七七度西ニ至ル間ト改ム

項外　正誤

水路告示第一九九四號第五九九〇項英海軍海圖頒布停止圖名中〰〰〰

法学 7338 本文

ニ二級ニ分ル其ハ所謂「アンダーグラデエート」ノタメニ設ケラルヽ所ニシテ譜数科ノ知識ヲ結合統一スルヲ以テ目的ト爲シ其ニハ所謂「ポストグラデエート」ノタメニ設ケラル所ニシテ特殊専門ノ研究ニ従事セシムルヲ要旨トス故ニ獨逸ノ「ファクリテート」独ニ「ゼミナール」ニ相當スルモノハ即チ後者ノミ今先ツ小學校ニ就キテ述ヘンニ其學舎ハ州ニ依リ區々ニシテ一ニアラス独逸ノ州ニ於テハ已ニ義務教育ヲ實施シ紐育州ノ如キハ千九百六年十月ニ強迫教育法案ヲ發布シ其第一章第三條ニ於テハ八歳ヨリ十四歳ニ至ル者ニ修學ニ就カサルヘカラスト規定セリ而シテ各市町村ニハ學務委員ナルモノアリテ小學校ニ關スル一切ノ事ヲ司リ首府華盛頓市ニ存スル學務局ハ唯勸告ヲ與フルノミニシテ敢テ監督ヲ爲スコトナク又各州ヨリ提出スル所ノ統計ヲ蒐集シテ報告ノ形式ヲ作ルノミ

合衆國憲法ノ本領ハ四民ハ全然同等ノ權利ヲ以テ生レタルモノナルヲ以テ又全然同等ニ取扱ハレサルヘカラスト云フニ在リ而シテ普通教育ノ續神モ亦其ニ此趣旨ニ基ク小學校ハ其實際ニ於テ獨逸ト自ラ其性質ヲ異ニセリ獨逸ニ在リテハ貴族士官官吏等ハ其子弟ヲ車夫馬丁ノ見女ト同一ノ學校ニ學ハシムルコトヲ好マス富豪巨商ノ子弟ハ貧族下層ノ子女ト同一ノ教室ニ机ヲ並ヘテ修學スルコトヲ欲セス門閥風ヲ成シ階級俗ヲ作リ其修學ハ所ノ學校モ亦自ラ異ニスルノ状況ヲ呈セリ殊ニ貴族富者ノ子弟ハ始ヨリ「ギムナジューム」等ニ入ル者多キヲ以テ下等社會ノ子弟ト同席スル者甚タ少キニ反シ米國ニ在リテハ全然半等ニシテ微賤尾同等ニ取扱ハルヽハ一般社會ノ輿論ニ比シテ赤獨逸ニ比シテ赤ハ家庭教師ノ掌握スル所ニシテ教師ハ自己ノ模範ト培ヒ常識ノ涵養スルニ重キヲ置ケリ例ヘハ兒童ノ主トシ親事彼等ノ理性ニ訴ヘシメ以テ社會心ヲ培ヒ常識ノ涵養スルニ重キヲ置ケリ例ヘハ兒童カ過誤ヲ犯シ叱責ヲ蒙ルヤ如キ必ラシ之ニ加ヘ問ヲ課スルコトハ米國ノ小學校ニ於テ普キ認メラルヽ所ニ兒童カ趣味ニ適セリ猶ホ茲ニ獨ホ欧米諸國ノ中ニ就キテ教科書ノ材料ハ戰富ニシテ善ク取捨選擇ニ便ニシルコトアリ何ソ米國ノ教科書ノ題目ハ同一ニシテ其文章ハ流暢ニシテ普通モ兒童ノ趣味ニ適セリ猶ホ茲ニ獨ホ欧米諸國ノ中ニ就キテ

讀書ノ民智微ク得シムル力針ト操ルト同時ニ他方ニハ各國ニ通俗圖書館ノ制非常ニ發達シ何
國セルアリ慈善會ノ設アタルモノ多リ藝術組織自己ノ書庫ヲ公開シテ衆庶ノ便用ニ供スルモノアリ
リアンドリューカーネギー氏ノ如キハ國書館ノ效果ヲ以テ大學ノ講義ニ比肩セシメ得ヘキモノナリ
トノ說ヲ有シ巨額ノ私財ヲ投シテ各州全國ニ圖書館ヲ設立セ
今米國ノ圖書館ハ其ノ之ヲ溯過ノ其レニ比スル少シク相異ナル所アリ即チ前者ハ後者ニ比シテ更
ニ實際的ニ更ニ自由ニ且ツ一層平民的ナルニ在リ乃チ何人ト雖モ頒賞ノ遊惰ニ就キ者多キカタ
テ之ヲ利用スルヲ得ルコト是ナリ單ナル都市ハ皆非常ニ廣大ナル通俗圖書館ヲ有シ其規模ハ甚壯ニ
シテ僅用ノ用途多方面ナリ蓋シ其主義トスル所ハ最大多數ノ最大利用ヲ以テ試ニ
其圖書館用ノ問數數ニ圖書館出入ノ人員ニ驚キテ續計ノ報スル所ヲ見ルニ亦之ヲ溯過ニ比シテ遙ニ
大ナリ以テ其圖書利用ノ盛ナルヲ見ルニ足ルヘシ而シテ之ヲ利用スルモノハ獨リ中流以上ノ人士ノ
ミニ止ラス勞働者目備人等ノ下等社會ニ至ルマテ圖書館ニ出入スル者極テ多シ以テ彼ノ獨過ニ
ヲ知ルニ足ラン斯ノ如ク圖書館覽ノ方法極テ自由ニシテ且ツ設書室モ亦盛大ナルヲ以テ彼ノ獨過ニ
於テ發達セルテビブリオテーク」「ルンドビブリオテーク」ノ如キ制ハ有スルコト極テ稀ナリ蓋シ
斯ノ如キ制ノ必要ヲ見サルヲ以テナリ小官ハ米國ハ圖書ノ國ナリトノ言ヲ以テ此項ヲ始メタルカ今
ヤ又米國ハ讀書ノ國ナリトノ一言ヲ以テ茲ニ此項ヲ終ラサルヲ得ス

第六　知識ノ普及（常識ノ涵養ニ對スル新聞紙ノ圖館ニ關シテ）

新聞紙カ通俗教育上ニ多大ノ影響ヲ及ホスモノナルコトハ元ヨリ疑ヲ容レサル所ニシテ新聞紙ノ良否
ハ以テ國民智德ノ程度ヲトスルニ足ル米國ニ於ケル一般社會カ新聞紙ヲ以テ知識普及常識涵養ノ具
トセルカ亦所以ナキニアラサルカ如シ而シテ其斯ノ如ク人ハ主トシテ新聞紙其ノ一カ絶潔優良ニシテ
眞ニ克ク社會ノ木鐸者タリ與論ノ指南者タル ニ足ノ資格ヲ具有セル ニ因ラスンハアラス勿論其種
類ノ多キ中ニハ社會ニ惡影響ヲ及ホカ如キノ記事ヲ掲載シテ憚ラサルモノナキニアラスト雖モ斯ノ
如キハ一般社會ノ觀ニ醜業、工業、農業、殖産興業、金融、經濟、發明改良ノ如キニ關シ多數ノ試ニ
開紙ニ載キテ觀ニ醜業、工業、農業、殖産興業、金融、經濟、發明改良ノ如キニ關シ多數ノ試ニ
成ルノ讀ムヘキ部分、未成年者ノ讀ムヘキ部分主婦ノ讀ムヘキ部分等ニ分類シ中ニハ婦人ノ家情
キハ一般ノ讀ムヘキ部分、未成年者ノ讀ムヘキ部分主婦ノ讀ムヘキ部分等ニ分類シ中ニハ婦人ノ家情
成ルノ讀ムヘキ部分、未成年者ノ讀ムヘキ部分主婦ノ讀ムヘキ部分等ニ分類シ中ニハ婦人ノ家情
キハ一般ノ讀ムヘキ部分、未成年者ノ讀ムヘキ部分主婦ノ讀ムヘキ部分等ニ分類シ中ニハ婦人ノ家情
成ルノ讀ムヘキ部分、未成年者ノ讀ムヘキ部分主婦ノ讀ムヘキ部分等ニ分類シ中ニハ婦人ノ家情
キハ一般ノ讀ムヘキ部分、未成年者ノ讀ムヘキ部分主婦ノ讀ムヘキ部分等ニ分類シ中ニハ婦人ノ家情

高シ故ニ學僕ヲ爲リ或ハ勞働ニ從事シテ以テ自活ノ道ヲ講スルハ甚タ容易ニシテ其餘暇ヲ以テ學
術ヲ修ムルコト亦恐シカラス之ニ加フルニ米國人ハ勞働ヲ尚ヒ勤勞ヲ重ンスルノ國民ナル
ヲ以テ學生ノ勞役ニ從事スルハ毫モ恥トタスニ足ラス又決シテ賤マルヽカ如キコトナキノミナラス
米國人中ニモ之ニ依リテ克ク成功セシ者甚タ多シ今ノ大統領ルーズヴェルト氏ハ身ヲ牧童ニ起シ前
ノ大統領ガーフィルド氏モ亦學僕タリシコトアリ本邦ノ苦學生ニシテ志操堅固ナラン豈ニ成功セ
サルノ理アランヤ然ルニ事實ニ鑑キテ之ヲ觀察シ或ハ中道ニシテ挫折シ或ハ方向ヲ轉シ或ハ中廢
シ遂ニ墮落スルニ至ル者比ヤトシテ皆然リ是レ何ニ因リテ然ルカ今其近因ト認ムヘキ點ヲ列擧スレ
ハ勤勞ニ對スル報酬多ナルタメニ却テ安逸ニ流レ易キコト、他ノ同胞ノ遊惰ニ就キ者多キカタ
メニ之ニ誘導セラレテ惡風ニ感染シ易キコト、勤惰弱行ニシテ誘惑ニ抗拒スルコト能ハサルコト、忍
耐克己ノ力ニ乏シキコト、一時ノ感情ニ依リテ大ナル成功ヲ得ント欲フ者多キコト等皆然リ而モ更
ニ一歩ヲ進メテ是等ノ讀察ノ由リテ來ル遠因如何ト遡原スルトキハ實ニ彼等カ本國ニ在リテ十分ノ
基礎教育ヲ受ケス之カタメニ品性ノ基礎未タ確立セス志操薄弱ニシテ思慮淺薄ナルニ拘ラス發動ク
外國ニ渡航スルニ臨テハ獨リ青年ノ獨過ニ止ラス中流以上ノ人士ノ子弟ニ至ルマテ多ク之ニ從フ
此點ニ於キテハ先ツ本國ニ於テ十分ノ基礎教育ヲ受ケ若クハ專門教育ヲ終ヘ已ニ確固タル品性ト相當ノ
疑ハス獨過人ノ米國ニ渡航スル者年々巨萬ノ多キニ達シ而シテ其國ノ教育ヲ受ケ若クハ專門教育ヲ終ヘ中ニハ已ニ大學ヲ卒
其青年ノ如キハ先ツ本國ニ於テ十分ノ基礎教育ヲ受ケ若クハ專門教育ヲ終ヘ已ニ確固タル品性ト相當ノ
業シテ然ル後渡米シ或ハ實業ニ從事シ或ハ學生ト雖モ本邦ノ苦學生ニシテ志操堅固ナラン豈ニ成功セ
本國ニ於テ十分ニ基礎教育ヲ受ケタルノ後始テ渡航スルニ因リ而シテ本邦苦學生ノ多ク失敗ニ陷ル
所以ハ彼等ノ基礎教育未タ十分ナラサルニ拘ラス一時ノ客氣ニ勵サレテ早々渡米スル者ノ多キコト
確ニ其源因ノ一タルコトハ信ニシテ疑ハス教育上注意ヲ要スル所ナリトス若シ本邦青年ニシテ獨過人
ノ如ク先ツ本國ニ在リテ十分ニ基礎教育ヲ受ケ若クハ專門教育ヲモ終ヘ已ニ確固タル品性ト相當ノ
學識技藝トヲ有シ然ル後米國ニ渡リ事業ヲ企テ致富ノ道ヲ講セハ多大ノ成功ヲ見ルヘキヲ疑ハス

第八　日本語學校ニ關スル

新聞紙ノ大平洋沿岸ノ地方ニ居住スル者甚タ多ク桑港、バンクーバー、ポートランド、タコマ等ノ諸都市
邦人ノ大平洋沿岸ノ地方ニ居住スル者甚タ多ク桑港、バンクーバー、ポートランド、タコマ等ノ諸都市
ヲ始トシ其附近ニモ尚ク散在セリ是等ノ人々ノ子弟ノタメニ日本語ヲ教フルノ目的ヲ以テ學校ヲ建
設シ者アリテ桑港シアトル、バンクーバー等ニ存セリ是等ハ皆其地方ノ日本人會ニ附屬シ邦人ニシ
テ英語ヲ能クシ且ツ教育上ニ經驗アル者ヲ聘シテ之カ教師トシ爲シ兒童ハ小學校ノ放課後或ハ集
リテ日本語ヲ學習ス小官ハシアトル市ニ在リ日本語學校ヲ巡視觀察シタリシカ此學校ニテハ本邦ノ
國定教科書ヲ用ヒテ假ミ方書ヲ力等ノ教ヘ其成績亦頗ル見ルヘキモノアリヲ認メタリ

○財政

○外國貿易前年對照概表

大藏省ノ調査ニ係ル去月中ノ外國貿易前年對照概表左ノ如シ△印減　本稿內參看

輸出

食料品	十年一月分	四十年一月分	增減
甲　粗生品			
米	三八〇、七六六	三一、四〇二、八二	△ 一〇、一三八
昆布及海藻類	二二三、一五二	一、五三二、一二二	△ 一、三八九、九七九
鰹節	二二六、〇三四	三三、八九四	△ 一五、一七九
其他	一、一二七、〇六一	一、〇二〇、四七九	△ 一三、二九七
計	一、八六八、一七六	一、〇〇二、一二三	△ 一五、一七九
乙　製造品			
製茶	一、〇〇五、〇三五	八、四〇〇、一二七	△ 一五、二七七
計	一、〇〇五、〇三五	八、四〇〇、一二七	△ 一五、二七七
食料品計	三八一、六五六	一、〇二五、三三六	△ 一、三六五、三二六
原料品			
石炭	一、〇〇一、三九四	一、〇三一、六二四	△ 三〇、六二〇
木材	一四二、〇五一	一、〇一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
屑絲	三六六、一二四	一、〇一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
其他	三〇、六七〇、九七七	三〇、一一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
計	三〇、六七〇、九七七	三〇、一一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
原料品計	一、〇〇一、三四七	一、〇三一、六二四	△ 三〇、六二〇
樟腦	一、〇一一、一二一	一、〇一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
魚油	一、〇一一、一二一	一、〇一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
生絲	一、〇一一、一二一	一、〇一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
絹織絲	一、〇一一、一二一	一、〇一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
綢（塊及錠）	一、〇一一、一二一	一、〇一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
製帽用眞田	一、〇一一、一二一	一、〇一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
其他	一、〇一一、一二一	一、〇一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
計	一、〇一一、一二一	一、〇一一、一二一	△ 一、〇一一、一二一
全製品			
羽二重	二、八一〇、〇八六	三、一〇〇、〇五四	△ 二、〇一〇、〇一〇
絹製手巾	一、五一九、〇〇三	一、七九五、二七六	△ 一、二七四、〇三〇
綿布	一、八八六、二一〇	一、五三三、一一一	△ 一、五三三、一一一
絹製浴巾	三四六、六六七	一、八〇、六六三	△ 一、八〇、六六三
絹「メリヤス」肌衣	五〇六、七三九	五四三、九四八	△ 五四三、九四八
磁器及陶器	一三三、一七七	一三八、八一一	△ 一三八、八一一
漆器	三五六、一七〇	七三、七九四	△ 七三、七九四
玻璃鏡	六一、五六四	二八八、九四四	△ 二八八、九四四
洋傘	五五一、〇〇九	四二六、八八五	△ 四二六、八八五
花莚	九七四、三七二	一、一五三、三五五	△ 一、一五三、三五五
「マッチ」	五一六、三三八	四二四、九二一	△ 四二四、九二一
其他	二、八二六、九九四	二、四四〇、六六九	△ 二、四四〇、六六九
計	三一七、一二四	三四、九六八、六八三	△ 三四、九六八、六八三
其他ノ雜品			
類計	三四、九六八、六八三	四〇〇、五〇九、七二五	△ 四〇〇、五〇九、七二五
通計	一、八九七、九五五	一、四二一、五八四六	△ 一、四二一、五八四六
輸入			
食料品			
甲　粗生品			
米	一、五八六、六二七	四六〇、七七三	△ 四六〇、七七三
小麥	三六七、七五六	一、三三四、五四六	△ 一、三三四、五四六
豆類	一、八九七、九五五	一、四二一、五八四六	△ 一、四二一、五八四六
其他	三四一、八六九	一、三三一、六二五	△ 一、三三一、六二五
計	四、一九四、一〇七	三、一三一、六九四	△ 三、九五一、六〇九
乙　製造品			
麥粉	五〇一、五六六	二三七、五三二	五、八五二、八三一
砂糖	一、八六三、一六八	七五、一二二	△ 七五、一二二
清酒類	四五一、九五三	三一、一一二〇	△ 三一、一一二〇
麥酒	七〇、五八四	九七、三五四	△ 九七、三五四
紙卷煙草	二四六、四六七	二、五五〇、四八五	△ 二、五五〇、四八五
其他	四五一、八五一	一一、九四一、一九	△ 一一、九四一、一九
計	二、一八二、九〇四	二、六、九四四、六九二	△ 二、六、九四四、六九二
類計	四、〇五一、〇八〇	四、二三五、一九四	△ 四、二三五、一九四
原料品			
石炭	一、七〇四、三九四	一、三八三、四四二	△ 一、三八三、四四二
木材	八五一、四〇七	七七四、一二一	△ 七七四、一二一
屑絲	一四二、〇五一	一、三五一、九四〇	△ 一、三五一、九四〇
其他	三六六、一二四	一、四一三、一二一	△ 一、四一三、一二一
計	三〇、六七〇、九七七	四三一、一二一、一二一	△ 四三一、一二一、一二一
類計	一、〇〇一、三四七	一、七二一、八九八	△ 一、七二一、八九八
原料品計	二二八、一四五五	二、三二一、四五五五	△ 二、三二一、四五五五
革類	二二八、一四五五	二、三二一、四五五五	△ 二、三二一、四五五五
乾藍	六三七、六三一	三三三、一一七	△ 三三三、一一七
綿織絲	三三三、一一七	四三七、五三五	△ 四三七、五三五
塊鐵	一、三三三、五〇一	一、一五一、七一四九	△ 一、一五一、七一四九
條鐵等鐵及板鐵	九三、六一八	一〇、五六一	△ 一〇、五六一
筒鐵及管鐵	二一八、一三五	二一二、九三〇	△ 二一二、九三〇
其他	三、一八八、九〇四	三、一四四、七一四	△ 三、一四四、七一四
計	六、五一四、九八八	八、四五一、三五八	△ 八、四五一、三五八
類計	四〇七、六四八	三、一〇〇、〇五四	△ 三、一〇〇、〇五四
全製品			
金巾及更紗	三一四、六八九	一、七九五、二七六	△ 一、七九五、二七六
綿織手及傘用綿布	二八四、三〇六	一五三、二一一	△ 一五三、二一一
羅紗及セルヂス	一八八、六二〇	一八〇、六六三	△ 一八〇、六六三
「モスリン」	五〇六、七三九	五四三、九四八	△ 五四三、九四八
洋紙類	二一三、一七七	一三八、八一一	△ 一三八、八一一
石油	九七四、三七二	七三、七九四	△ 七三、七九四
鐵釘	四〇四、四八〇	二八八、九四四	△ 二八八、九四四
機關車客車及貨車	八一、八七六	四二六、八八五	△ 四二六、八八五
汽船	一四、四〇〇	一、一五三、三五五	△ 一、一五三、三五五
機械類	二、三三二、七九七	二、四四〇、六六九	△ 二、四四〇、六六九
其他	三、三〇二、三六六	四四、四〇一、六七三	△ 四四、四〇一、六七三
計	二、八八四、八四一	一、三五一、〇九七	△ 一、三五一、〇九七
其他ノ雜品			
類計	一七、九九六三	三五、八九四、九八四四	△ 三五、八九四、九八四四
通計	三五、八九四、九八四四	七〇、八六三、六六七	△ 七〇、八六三、六六七
輸出超過	九二六、三〇一	一二、七五七、六二七	△ 一二、七五七、六二七
輸入超過			五四、三三六、一四五
貨幣及地金			
輸出			
金貨及金地金	二、〇一五、〇三五	一、八四一、五三〇八	△ 一、八四一、五三〇八
銀貨及銀地金	一二、〇一〇	四、〇七六	五三、四三一
通計	二、〇二七、〇四五	一、八四八、六四〇	△ 一、八四八、六四〇
輸入			
金貨及金地金	二、〇一五、〇三五	一、八四一、五三〇八	△ 一、八四一、五三〇八
銀貨及銀地金	一二、〇一〇	四、〇七六	五三、四三一
通計	二、〇二七、〇四五	一、八四八、六四〇	△ 一、八四八、六四〇

本文

輸入

	四十年三十九月分	四十年三十九月以降累計額	増減
金貨及金地金	一、四六六、五七八	六、〇一七、五四七	△三〇、五九八、六六
銀貨及銀地金	四四六、二六九	一、二七九、九二七	△八、九九、一四三
通計	一、九一二、八四七	七、〇九三、四二四	△三九、四九〇、一二九
輸出超過	五三六、七二二	四六、七八三、六〇三	△三九、四九〇、一二九
輸入超過	—	—	—
入港船舶	一、〇三六、六四六	一、一、七五、一六六	△三、九六〇、八五三
內國船	七一九、六〇五	五一、六、一二七	六、〇一七、五四七
外國船	九五〇、五九五	一、一、七五、九二七	△八、九九、一四三
通計	一、六七〇、一六〇	七、〇九三、四二四	△三九、四九〇、一二九
（備考）去月分ハ遠隔ニシテ報告未達ノモノアルヲ以テ他月發刊スヘキ貿易月表トハ多少ノ差違ヲ免レサルモノトス			

又臺灣總督府ノ電報ニ係ル去月中ノ同島貿易額左ノ如シ（以上大藏省）

	四十年三十九月分	四十年三十九月以降累計額	増減
輸出品價	六八一、四一一	九、三七八、五八八	△一、九一〇、〇五〇
輸入品價	一、四〇〇、五四八	一〇、〇七六、四八一	△一、九一〇、〇五〇
通計	二、〇八一、九五九	一九、四五五、〇六九	△一、五一二、九三九
輸入超過	七一九、一三七	一〇、〇七九、四八一	△一、九一〇、〇五〇
輸出金銀價	二、七〇一	三、三三、三四八	△一、九一〇、〇五〇
輸入金銀價	四六、一二六	五五二、七二八	△一、九一〇、〇五〇
輸出超過	—	五七、八一三	△一、九一〇、〇五〇
輸入超過	四三、四二五	九四、六二五	△一、九一〇、〇五〇
入港船舶	一、一七五	六、〇三〇、五四八	△三〇、五九八、六六
內國船	七、三二一	一、一七五、九二七	△八、九九、一四三
外國船	八、九八八	一〇、〇六七、三四六	△三九、四九〇、一二九
通計	一六、三一九	二二、九二四	△三九、四九〇、一二九

○特許年限滿了　去月中特許年限ノ滿了ニ屬セシモノ左ノ如シ（農商務省）

特許番號	特許名稱	特許權者住所	特許權者氏名
一七四〇	繰返機	三重縣	山形縣　正木　市郎
一七四二	手袋	東京府	西見湯作三郎
一七四三（洋用）	防風器	埼玉縣	堀江仙二郎
一七四四	防銹漆	神奈川縣	日本漆器株式會社
一七四五	活栓	大阪府	池田藤次郎
一七四七	櫛箱	山梨縣	近藤修孝
一七四八	種麹	同石川縣	登井勝之助
一七四九	正午計	同石川縣	松原間五一
一七四九	紛擾機械	兵庫縣	高峰讓吉
一七五一	東京府道路	滝藤丸竹中	肥田友師
			密三
			性海

特許番號	特許名稱	特許權者住所	特許權者氏名
一七五三	防水布製造法	廣島縣	前田常次郎
一七五四	風車	長野縣	尾形卯吉
一七五九	櫓衡	東京府	關止
一七六〇	造法	埼玉縣	渡邊定
一七六二	灰吹筒	石川縣	瀧造
一七六三	防火劑	東京府	直三郎
一七六四	報鈴	小谷	與造
一七九七	種蒔機	赤松	熊吉
一七九九	簾編成機	大阪府	大松　幸吉
二九九一	長野縣	岡田時太郎	
二九九二	宮入半之丞	緒方熊太郎	
二九九四（愚案）	茅	佐藤傳一郎	
	奈良縣	倉田宗之輔	
	井植鶴十郎	佐藤淵勝吉	

○特許代理業者名簿登錄　特許局ニ於テ特許代理業者名簿ニ登錄セシ者左ノ如シ（農商務省）

第一月日
四〇、一二、一〇

（住所並ニ事務所移轉　東京市京橋區越前堀一丁目一番地　小野保吉
東京市京橋區新富町四丁目九番地　中川秀爾）

○通運

○電報通數及料金　內地各局所ニ於テ明治三十九年度中取扱ヒタル內外國電報發信通數ハ二千三百八通、料金ハ六百二十四万四千八百九十九圓四十七錢五厘ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ增加割合通數ニ四分八厘、料金ハ僅ニ三毛トス尙ホ地方別ノ發著通數及料金額ヲ掲クレハ左ノ如シ

內國電報通數

道府縣	發信	著信	合計
北海道	二、四六〇、六四六	二、四六〇、六四六	四、九二〇、一二九
東京	二、三三、七二一	二、三三、七二一	四、六六六、四四二
京都	六〇一、六二一	六〇一、六二一	一、二〇二、二四二
大阪	一、八六六、六〇一	一、八六六、六〇一	三、七三二、二〇二
神奈川	七二、三三四	七二、三三四	一四六、六六八
兵庫	九二〇、四四四	九二〇、四四四	一、八四〇、八八八
長崎	一、一六、四四三	一、一六、四四三	二、二三二、八八六
新潟	七二、七二〇	七二、七二〇	一四五、四四〇
埼玉	一三六、一六〇	一三六、一六〇	二七二、三二〇
群馬	一、六六、六二一	一、六六、六二一	三、三三二、二四二
千葉	一、六六、〇二二	一、六六、〇二二	三、三三二、〇四四
茨城	一〇八、四〇四	一〇八、四〇四	二一六、八〇八
栃木	一三四、三三六	一三四、三三六	二六八、六七二
奈良	一〇〇、三三六	一〇〇、三三六	二〇〇、六七二
三重	一三、四四四	一三、四四四	二六、八八八
愛知	六六二、四四四	六六二、四四四	一、三二四、八八八
岡山	一、〇六六、六六六	一、〇六六、六六六	二、一三二、三三二
滋賀	一〇〇、七七七	一〇〇、七七七	二〇〇、一五五
山梨	一〇、七七七	一〇、七七七	二〇、一五五
岐阜	一、六六八	一、六六八	三、三三六
福島	二、三六六	二、三六六	四、七三二
宮城	一、一六六	一、一六六	二、三三二
長野	二、一〇四	二、一〇四	四、二〇八
福井	一、四四六	一、四四六	二、八八二
石川	一、二六六	一、二六六	二、五三二
富山	一、一六六	一、一六六	二、三三二
鳥取	一、一六六	一、一六六	二、三三二
島根	一、一六六	一、一六六	二、三三二
岡山	一、一六六	一、一六六	二、三三二

外國電報通數

道府縣	發信	著信	合計
北海道	六、三六六	六、六六〇	一二、九二六
東京	二、〇一〇、五六六	二、〇一〇、五六六	四、〇二〇、一二二
京都	一、一四二	一、一四二	二、二八四
大阪	一、九六、六〇一	一、九六、六〇一	三、九三二、二〇二
神奈川	九二、一一〇	九二、一一〇	一八四、二二〇
兵庫	一、一六、九九	一、一六、九九	二、三二、九九八
長崎	四六一	四六一	九二二
新潟	七一、六二一	七一、六二一	一四二、二四二
埼玉	四六一	四六一	九二二
群馬	一、一六六	一、一六六	二、三三二
千葉	一、〇八〇	一、〇八〇	二、一六〇
茨城	八〇三	八〇三	一、六〇六
栃木	一、〇一四	一、〇一四	二、〇二八
奈良	一、一四二	一、一四二	二、二八四
三重	一、一六六	一、一六六	二、三三二
愛知	一、〇六六、六六六	一、〇六六、六六六	二、一三二、三三二
岡山	一〇〇、八〇四	一〇〇、八〇四	二〇〇、一六八
滋賀	一〇〇、七七七	一〇〇、七七七	二〇〇、一五五
山梨	一〇、七七七	一〇、七七七	二〇、一五五
岐阜	一、六六八	一、六六八	三、三三六
福島	二、三六六	二、三六六	四、七三二
宮城	一、一六六	一、一六六	二、三三二
長野	二、一〇四	二、一〇四	四、二〇八
福井	一、四四六	一、四四六	二、八八二
石川	一、二六六	一、二六六	二、五三二
富山	一、一六六	一、一六六	二、三三二
鳥取	一、一六六	一、一六六	二、三三二
島根	一、一六六	一、一六六	二、三三二
岡山	一、一六六	一、一六六	二、三三二

道府縣	內國電報通數 發信	著信	合計	外國電報通數 發信	著信	合計	內外料金 發信	著信	合計
北海道	二、四六〇、六四六	二、四六〇、六四六	四、九二〇、一二九	六、三六六	六、六六〇	一二、九二六	四九、〇八四、二四四	四九、〇八四、二四四	九八、一六八、四八八
東京	二、三三、七二一	二、三三、七二一	四、六六六、四四二	二、〇一〇、五六六	二、〇一〇、五六六	四、〇二〇、一二二	二一、一四四、四四四	二一、一四四、四四四	四二、二八八、八八八
京都	六〇一、六二一	六〇一、六二一	一、二〇二、二四二	一、一四二	一、一四二	二、二八四	一、一四二、四四四	一、一四二、四四四	二、二八四、八八八
大阪	一、八六六、六〇一	一、八六六、六〇一	三、七三二、二〇二	一、九六、六〇一	一、九六、六〇一	三、九三二、二〇二	一、九六、六〇一	一、九六、六〇一	三、九三二、二〇二
神奈川	七二、三三四	七二、三三四	一四六、六六八	九二、一一〇	九二、一一〇	一八四、二二〇	九二、一一〇	九二、一一〇	一八四、二二〇
兵庫	九二〇、四四四	九二〇、四四四	一、八四〇、八八八	一、一六、九九	一、一六、九九	二、三二、九九八	一、一六、九九	一、一六、九九	二、三二、九九八
長崎	一、一六、四四三	一、一六、四四三	二、二三二、八八六	四六一	四六一	九二二	四六一	四六一	九二二
新潟	七二、七二〇	七二、七二〇	一四五、四四〇	七一、六二一	七一、六二一	一四二、二四二	七一、六二一	七一、六二一	一四二、二四二
埼玉	一三六、一六〇	一三六、一六〇	二七二、三二〇	四六一	四六一	九二二	四六一	四六一	九二二
群馬	一、六六、六二一	一、六六、六二一	三、三三二、二四二	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二
千葉	一、六六、〇二二	一、六六、〇二二	三、三三二、〇四四	一、〇八〇	一、〇八〇	二、一六〇	一、〇八〇	一、〇八〇	二、一六〇
茨城	一〇八、四〇四	一〇八、四〇四	二一六、八〇八	八〇三	八〇三	一、六〇六	八〇三	八〇三	一、六〇六
栃木	一三四、三三六	一三四、三三六	二六八、六七二	一、〇一四	一、〇一四	二、〇二八	一、〇一四	一、〇一四	二、〇二八
奈良	一〇〇、三三六	一〇〇、三三六	二〇〇、六七二	一、一四二	一、一四二	二、二八四	一、一四二	一、一四二	二、二八四
三重	一三、四四四	一三、四四四	二六、八八八	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二
愛知	六六二、四四四	六六二、四四四	一、三二四、八八八	一、〇六六、六六六	一、〇六六、六六六	二、一三二、三三二	一、〇六六、六六六	一、〇六六、六六六	二、一三二、三三二
岡山	一〇〇、七七七	一〇〇、七七七	二〇〇、一五五	一〇〇、八〇四	一〇〇、八〇四	二〇〇、一六八	一〇〇、八〇四	一〇〇、八〇四	二〇〇、一六八
滋賀	一〇、七七七	一〇、七七七	二〇、一五五	一〇〇、七七七	一〇〇、七七七	二〇〇、一五五	一〇〇、七七七	一〇〇、七七七	二〇〇、一五五
山梨	一、六六八	一、六六八	三、三三六	一、六六八	一、六六八	三、三三六	一、六六八	一、六六八	三、三三六
岐阜	二、三六六	二、三六六	四、七三二	二、三六六	二、三六六	四、七三二	二、三六六	二、三六六	四、七三二
福島	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二
宮城	二、一〇四	二、一〇四	四、二〇八	二、一〇四	二、一〇四	四、二〇八	二、一〇四	二、一〇四	四、二〇八
長野	一、四四六	一、四四六	二、八八二	一、四四六	一、四四六	二、八八二	一、四四六	一、四四六	二、八八二
福井	一、二六六	一、二六六	二、五三二	一、二六六	一、二六六	二、五三二	一、二六六	一、二六六	二、五三二
石川	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二
富山	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二
鳥取	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二
島根	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二
岡山	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二

○特許代理業者名簿登錄　特許局ニ於テ特許代理業者名簿ニ登錄セシ者左ノ如シ（農商務省）

第一月日
四〇、一二、一〇

（住所並ニ事務所移轉　東京市京橋區越前堀一丁目一番地　小野保吉
東京市京橋區新富町四丁目九番地　中川秀爾）

○通運

○電報通數及料金　內地各局所ニ於テ明治三十九年度中取扱ヒタル內外國電報發信通數ハ二千三百八通、料金ハ六百二十四万四千八百九十九圓四十七錢五厘ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ增加割合通數ニ四分八厘、料金ハ僅ニ三毛トス尙ホ地方別ノ發著通數及料金額ヲ掲クレハ左ノ如シ

內國電報通數

道府縣	發信	著信	合計
北海道	二、四六〇、六四六	二、四六〇、六四六	四、九二〇、一二九
東京	二、三三、七二一	二、三三、七二一	四、六六六、四四二
京都	六〇一、六二一	六〇一、六二一	一、二〇二、二四二
大阪	一、八六六、六〇一	一、八六六、六〇一	三、七三二、二〇二
神奈川	七二、三三四	七二、三三四	一四六、六六八
兵庫	九二〇、四四四	九二〇、四四四	一、八四〇、八八八
長崎	一、一六、四四三	一、一六、四四三	二、二三二、八八六
新潟	七二、七二〇	七二、七二〇	一四五、四四〇
埼玉	一三六、一六〇	一三六、一六〇	二七二、三二〇
群馬	一、六六、六二一	一、六六、六二一	三、三三二、二四二
千葉	一、六六、〇二二	一、六六、〇二二	三、三三二、〇四四
茨城	一〇八、四〇四	一〇八、四〇四	二一六、八〇八
栃木	一三四、三三六	一三四、三三六	二六八、六七二
奈良	一〇〇、三三六	一〇〇、三三六	二〇〇、六七二
三重	一三、四四四	一三、四四四	二六、八八八
愛知	六六二、四四四	六六二、四四四	一、三二四、八八八
岡山	一〇〇、七七七	一〇〇、七七七	二〇〇、一五五
滋賀	一〇、七七七	一〇、七七七	二〇、一五五
山梨	一、六六八	一、六六八	三、三三六
岐阜	二、三六六	二、三六六	四、七三二
福島	一、一六六	一、一六六	二、三三二
宮城	二、一〇四	二、一〇四	四、二〇八
長野	一、四四六	一、四四六	二、八八二
福井	一、二六六	一、二六六	二、五三二
石川	一、一六六	一、一六六	二、三三二
富山	一、一六六	一、一六六	二、三三二
鳥取	一、一六六	一、一六六	二、三三二
島根	一、一六六	一、一六六	二、三三二
岡山	一、一六六	一、一六六	二、三三二

外國電報通數

道府縣	發信	著信	合計
北海道	六、三六六	六、六六〇	一二、九二六
東京	二、〇一〇、五六六	二、〇一〇、五六六	四、〇二〇、一二二
京都	一、一四二	一、一四二	二、二八四
大阪	一、九六、六〇一	一、九六、六〇一	三、九三二、二〇二
神奈川	九二、一一〇	九二、一一〇	一八四、二二〇
兵庫	一、一六、九九	一、一六、九九	二、三二、九九八
長崎	四六一	四六一	九二二
新潟	七一、六二一	七一、六二一	一四二、二四二
埼玉	四六一	四六一	九二二
群馬	一、一六六	一、一六六	二、三三二
千葉	一、〇八〇	一、〇八〇	二、一六〇
茨城	八〇三	八〇三	一、六〇六
栃木	一、〇一四	一、〇一四	二、〇二八
奈良	一、一四二	一、一四二	二、二八四
三重	一、一六六	一、一六六	二、三三二
愛知	一、〇六六、六六六	一、〇六六、六六六	二、一三二、三三二
岡山	一〇〇、八〇四	一〇〇、八〇四	二〇〇、一六八
滋賀	一〇〇、七七七	一〇〇、七七七	二〇〇、一五五
山梨	一〇、七七七	一〇、七七七	二〇、一五五
岐阜	一、六六八	一、六六八	三、三三六
福島	二、三六六	二、三六六	四、七三二
宮城	一、一六六	一、一六六	二、三三二
長野	二、一〇四	二、一〇四	四、二〇八
福井	一、四四六	一、四四六	二、八八二
石川	一、二六六	一、二六六	二、五三二
富山	一、一六六	一、一六六	二、三三二
鳥取	一、一六六	一、一六六	二、三三二
島根	一、一六六	一、一六六	二、三三二
岡山	一、一六六	一、一六六	二、三三二

線名	科目	本年度	前年度比較增減
東海道線	水	四一〇	二
北陸線	元	一五四	—
信越線	元	一一八	—
奥羽線	元	三〇三	—
中央東線	元	一五九	二
山陰線	元	六七	二
鹿兒島線	甲	四一	一三
中央線	元	五〇	一
西局	元	二七五	四四
北海道線	炭礦	二〇八	—
元北海道	元	一五九	—
日本鐵道線	元	八五九	五〇
岩越線	元	四〇四	四〇
山陽線	元	四五五	八六
九州線	元	八九	二
北越線	元	三一	二
京阪線	元	四一	九四
鶴賀線	元	一一三	一一三
總武線	元	一一	一一
房總線	元	四九	四九
尾國線	元	四〇七	四〇七
西及參宮線	元	四四四五	四四四五
合計		一、七八三	一、七八三

平均營業哩

旅客人員

線名	科目	本年度	前年度比較增減
東海道線	水	五五九、七二五	五五、四一七
北陸線	元	七四、四六八	一三、一一一
信越線	元	五〇、九七九	九、七四九
奥羽線	元	六五、七七八	五四、七七二
中央東線	元	八三、五四一	八、三五一
山陰線	元	七〇、九二一	一、〇六一
鹿兒島線	甲	五一、〇三一	五、〇三一
中央線	元	一一、六六八	一一、六六八
西局	元	五三、六八〇	五三、六八〇
北海道線	炭礦	二八、四四三	二八、四四三
元北海道	元	八五、九九八	八、五九八
日本鐵道線	元	二四八、六六一	二、六五七
岩越線	元	二四八、八六五	九五八、七二一
山陽線	元	九五、五八〇	一〇、六七五
九州線	元	三六、一三五	三六、一三五
北越線	元	三一、三三五	三一、三三五
京阪線	元	四七、三九一	四七、三九一
鶴賀線	元	一〇三、一三六	一〇三、一三六
總武線	元	八、九七五	八、九七五
房總線	元	六八、二一五	六八、二一五
尾國線	元	三四、一八〇	三四、一八〇
西及參宮線	元	一、四九一、六三〇	一、四九一、六三〇
合計		大、三七、七〇一	大、三七、七〇一

貨物噸數

線名	科目	本年度	前年度比較增減
東海道線	水	一八、一三一	四一
北陸線	元	三三、〇四九	四八二
信越線	元	一八、四九六	一、六六一
奥羽線	元	三〇、三四四	一、三五五
中央東線	元	一六、六二一	一、四一二
山陰線	元	一〇、九三九	一、一四五
鹿兒島線	甲	七、六六九	一、三七七
中央線	元	二、二八五	二、二八五
西局	元	二九、〇五七	二九、〇五七
北海道線	炭礦	一、九一〇七	一、九一〇七
元北海道	元	三九、七二一	三九、七二一
日本鐵道線	元	一九八、〇七六	一、六五七
岩越線	元	三四八、七七一	三、五四〇
山陽線	元	一〇六、七三九	一、三五七
九州線	元	三四、二二八	三四、二二八
北越線	元	三一、三三五	三一、三三五
京阪線	元	四七、三九一	四七、三九一
鶴賀線	元	一〇三、一三六	一〇三、一三六
總武線	元	一一、四〇三	一一、四〇三
房總線	元	八、九七五	八、九七五
尾國線	元	六八、二一五	六八、二一五
西及參宮線	元	三四、一八〇	三四、一八〇
合計		一、四九一、六三〇	一、四九一、六三〇

客車收入

線名	科目	本年度	前年度比較增減
東海道線	水	三、七四五	二、七一七
北陸線	元	一三、〇四九	八一七
信越線	元	一五、五七五	一、三四四
奥羽線	元	三五、二一四	一、六六一
中央東線	元	一〇、九三九	一、一四五
山陰線	元	一、六六九	一、三七七
鹿兒島線	甲	七、六六九	一、三七七
中央線	元	一〇、〇三六	一〇、〇三六
西局	元	二、九六六	二、九六六
北海道線	炭礦	一、〇三四	一、〇三四
元北海道	元	一、九五一	一、九五一
日本鐵道線	元	一〇、九七七	一、九五一
岩越線	元	二、三四一	二、三四一
山陽線	元	一〇、六六一	一、六六一
九州線	元	一、四一一	一、四一一
北越線	元	一、六六一	一、六六一
京阪線	元	一、一四一	一、一四一
鶴賀線	元	一〇、〇九三	一〇、〇九三
總武線	元	一、一四一	一、一四一
房總線	元	一、一四一	一、一四一
尾國線	元	一、一四一	一、一四一
西及參宮線	元	一、一四一	一、一四一
合計		一、一四一	一、一四一

貨車收入

線名	科目	本年度	前年度比較增減
東海道線	水	二九、一三一	二、一三一
北陸線	元	一九、一四一	一、一四一
信越線	元	一、六六一	一、六六一
奥羽線	元	一、一四一	一、一四一
中央東線	元	一、一四一	一、一四一
山陰線	元	一、一四一	一、一四一
鹿兒島線	甲	一、一四一	一、一四一
中央線	元	一、一四一	一、一四一
西局	元	一、一四一	一、一四一
北海道線	炭礦	一、一四一	一、一四一
元北海道	元	一、一四一	一、一四一
日本鐵道線	元	一、一四一	一、一四一
岩越線	元	一、一四一	一、一四一
山陽線	元	一、一四一	一、一四一
九州線	元	一、一四一	一、一四一
北越線	元	一、一四一	一、一四一
京阪線	元	一、一四一	一、一四一
鶴賀線	元	一、一四一	一、一四一
總武線	元	一、一四一	一、一四一
房總線	元	一、一四一	一、一四一
尾國線	元	一、一四一	一、一四一
西及參宮線	元	一、一四一	一、一四一
合計		一、一四一	一、一四一

收入總計

線名	科目	本年度	前年度比較增減
東海道線	水	四一、九〇〇	四八三
北陸線	元	六二、〇〇六	五、〇〇六
信越線	元	三八、一六〇	四、〇一〇
奥羽線	元	一四、〇一〇	三、一三三
中央東線	元	一、一三三	一、一三三
山陰線	元	一、一三三	一、一三三
鹿兒島線	甲	一、一三三	一、一三三
中央線	元	一、一三三	一、一三三
西局	元	一、一三三	一、一三三
北海道線	炭礦	一、一三三	一、一三三
元北海道	元	一、一三三	一、一三三
日本鐵道線	元	一、一三三	一、一三三
岩越線	元	一、一三三	一、一三三
山陽線	元	一、一三三	一、一三三
九州線	元	一、一三三	一、一三三
北越線	元	一、一三三	一、一三三
京阪線	元	一、一三三	一、一三三
鶴賀線	元	一、一三三	一、一三三
總武線	元	一、一三三	一、一三三
房總線	元	一、一三三	一、一三三
尾國線	元	一、一三三	一、一三三
西及參宮線	元	一、一三三	一、一三三
合計		一、一三三	一、一三三

○官設鐵道收入概算報　官設鐵道去月十一日ヨリ同二十日ニ至ル（十日間）ノ收入概算左ノ如シ（△印減）

	內國電報通數 發信	著信	合計	外國電報通數 發信	著信	合計	內外料金 發信	著信	合計
三十九年度	三六八、〇八四	三六八、〇八四	七三六、一六八	一、九六、六六八	一、九六、六六八	三、九三二、三三六	一、九六、九九、一四〇	一、九六、九九、一四〇	三、九三、九八、二八〇
三十八年度	四六四、三三八	四六四、三三八	九二八、六七六	九六、六六八	九六、六六八	一九二、三三六	四六、九二、一四〇	四六、九二、一四〇	九二、八四、二八〇
發著前年度比較增減	△一六、二四四	△一六、二四四	△三二、四八八	△一、一六六	△一、一六六	△二、三三二	△一、一六六、八八〇	△一、一六六、八八〇	△二、三三二、七六〇
同上割合	△〇、三四	△〇、三四	△〇、三四	△一、一四	△一、一四	△一、一四	△一、一四	△一、一四	△一、一四
三十九年度	三七七、〇六六	三七七、〇六六	七五四、一三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六、八八〇	一、一六六、八八〇	二、三三二、七六〇
三十八年度	三七七、八六六	三七七、八六六	七五四、七三二	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六、八八〇	一、一六六、八八〇	二、三三二、七六〇
發著前年度比較增減	△三〇、八〇〇	△三〇、八〇〇	△六〇、六〇〇	一、一六六	一、一六六	二、三三二	一、一六六、八八〇	一、一六六、八八〇	二、三三二、七六〇
同上割合	△〇、八一	△〇、八一	△〇、八一	一、一四	一、一四	一、一四	一、一四	一、一四	一、一四

清國（關東都督府管轄）

	內國電報通數 發信	著信	合計	外國電報通數 發信	著信	合計	內外料金 發信	著信	合計
三十九年度	三六八、〇八四	三六八、〇八四	七三六、一六八	一、九六、六六八	一、九六、六六八	三、九三二、三三六	一、九六、九九、一四〇	一、九六、九九、一四〇	三、九三、九八、二八〇
三十八年度	四六四、三三八	四六四、三三八	九二八、六七六	九六、六六八	九六、六六八	一九二、三三六	四六、九二、一四〇	四六、九二、一四〇	九二、八四、二八〇
發著前年度比較增減	△一六、二四四	△一六、二四四	△三二、四八八	△一、一六六	△一、一六六	△二、三三二	△一、一六六、八八〇	△一、一六六、八八〇	△二、三三二、七六〇
同上割合	△〇、三四	△〇、三四	△〇、三四	△一、一四	△一、一四	△一、一四	△一、一四	△一、一四	△一、一四

（備考）本表料金ノ外臺灣其他ニ於ケル內外電報ノ發著通數及料金左ノ如シ（△印減）（以上運信省）

內國電報通數

	發信	著信	合計

○衛生

○虎列刺患者及死亡者數　去月二十六日ヨリ同三十日ニ至ル虎列刺患者及死亡者數左ノ如シ（內務省）

府縣	患者	死者	府縣	患者	死者
東京府	九	二	岡山縣	一	一
大阪府	七	一	廣島縣	三	一
神奈川縣	一	一	山口縣	三	一
兵庫縣	七	五	和歌山縣	一	一
長崎縣	二	一	德島縣	一	一
埼玉縣	一	一	香川縣	一	一
千葉縣	一	一	愛媛縣	一	一
茨城縣	一	一	福岡縣	四	九
愛知縣	一	一	大分縣	七	三
靜岡縣	一	一	佐賀縣	一	一
山梨縣	二	一	熊本縣	一	一
			鹿兒島縣	一	一
			合計	五一	三四

○縣會　茨城縣ニ於テ去月十一日ヨリ開會ノ通常縣會ハ議事結了ノ時十日閉會セリ（茨城縣）◎愛媛縣ニ於テ同十六日招集ノ通常縣會ハ議事結了ノ日九日閉會セリ（愛媛縣）

○地方行政

○在外公館報告

○上海傳染病病況　上海ニ於ケル傳染病病況ニ付キ同地駐在總領事永瀧久吉ヨリ去月二日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

腸窒扶私	一	猩紅熱	一
結核	一		

○上海經濟狀況　上海ニ於ケル本年十月中ノ經濟狀況ニ付キ同地駐在總領事永瀧久吉ヨリ去月二十二日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

爲替相場及銀塊相場　本月中ニ於ケル銀塊相場ハ一昨年和秋以來稀ニ見サル安値ヲ現シタリ即チ左ノ如シ

一日	三ペンス	十四日	二九ペンス
二日	三〇ペンス	十五日	二八ペンス
九日	二七ペンス	十六日	二七ペンス
		十七日	二八ペンス
		十八日	二七ペンス
		十九日	二七ペンス
		二十日	二七ペンス
		二十一日	二七ペンス
		二十二日	二七ペンス
		二十六日	二八ペンス
		二十七日	二七ペンス
		二十八日	二七ペンス
		二十九日	二七ペンス
		三十日	二七ペンス
		三十一日	二七ペンス

右ニ示スカ如ク一箇月間ニ於テ殆ト四片方ノ崩落ヲ來シタリ而シテ之カ暴落ノ原因ニ就キテハ一般銀塊ノ產額增加ノタメ供給過剩ト爲リシコトモ勿論暴落ノ一因タルヘキモ今回ノ崩落ハ印度ニ於ケル農作物ノ不況ニ原因スルモノヽ如シ

一日	二〇〇〇	十四日	二〇二〇
四日	二〇〇〇	十九日	二〇〇九
七日	二〇〇〇	二十五日	二〇〇八
			二〇〇八
一日	六七〇	十五日	七三
四日	六八〇	十九日	七四
八日	六九〇	二十五日	七三
十一日	六九〇	二十八日	七四

右ニ示セルカ如ク最低六十七兩二分ノ一ヨリ最高七十四兩八分ノ五ニ昇リ十五日ノ如キ一日間三兩八分ノ一ノ騰貴ヲ現セリ

是等爲替相場變動ノタメニ經濟上ニ及セシ影響ニ付キテハ後段一般商況ノ項ニ於テ詳述スヘシ

銀行正貨在高及金利　九月中漸次增加ニ傾キツヽ在リシ銀銀ハ十月ニ入リテモ同一ノ步調ヲ保チ月初八百万兩臺ナリシモノ二日ニハ九百万兩ト爲リ九日ニハ千万兩臺ニ昇リ十六日ニハ千百万兩臺ト爲リ二十一日ニハ千二百万兩ト爲リ月末ニハ遂ニ千二百四十万兩ト云フ近年響テ見サル激增ヲ來セリシヲ所年同期ノ在高ニ比スレハ二百六十万兩ノ增加ヲ示ス而シテ一昨年同期ニ比スレハ殆ト三倍以上ノ增加ヲ示セリ

斯ノ如キ狀加ハ主トシテ天津滿口、九江、漢江、鎭江、營口、牛莊、雲齋及直隸ヨリノ輸入ニ基クモノニシテ移關目報ノ記載スル所ニ依レハ十月前半部ニ於テモ既ニ百万兩以上ノ輸入ヲ示セリ之ニ反シテ移關目報ノ記載スル所ニ依レハ十月前半部ニ於テモ既ニ百万兩以上ノ輸入ヲ示セリ之ニ反シテ墨銀ハ漸次減少シ月初七百万弗臺ニ減シ月末ニハ僅ニ四百三十四万弗ノ保存スルニ過キス之ヲ月初ニ比スレハ約三百万弗ノ減少ヲ示シ昨年同期ノ在高ニ比スレハ甚シキ增減ヲ見サレトモ一昨年同期ニ比スレハ又三百万弗ノ減少ヲ示セリ而シテ之カ輸出額ヲ考フルニ本月前半部ニ於テ南清方面ニ對スル輸出高ハ僅ニ二十万弗內外ニ過キス故ニ之カ減少ノ主タル原因ハ米茶生絲綿花等ノ農產物買入資金トシテ地方內地ニ回送セラレシモノト見ルノ外ナカルヘシ

次ニ金利ニ就キテ之ヲ考フルニ例ニ依リテ高低定リナク怨ニシテ二厘五分ニ止リ怨ニシテ一厘ニ下リ殆ト歸著スル所ヲサリキ即チ左ノ如シ

一日	一厘	十日	二〇〇
五日	一厘五	二十四日	二〇五（最高）
七日	一厘	二十六日	二〇〇
		二十九日	一〇〇（最低）
		三十一日	一厘三

金塊及銀塊相場　銀價ノ崩落ニ連レテ金貨モ亦著シキ變動ヲ來シ月初三百五十二兩ニ昇騰シ一箇月間ニ約三十兩方ノ暴騰ヲ示セリ

金價騰貴ノ結果極端ナル投機ヲ誘勸シ貴金ヲ有スル者ハ勿論一錢ノ賠ナキ者ト雖モ若干手帖トヲ有スル者ハ奇貨逸スヘカラスト爲シ一獲千金ヲ夢想シテ著モ人モ投機界ニ走リ數百數千ノ金塊ヲ買資セシ結果相場ハ愈々亂調子ト爲リ受渡ノ期ニ迫リテ借權者ノ錯來ニ遂ヲヤ漏スニ金塊ナキ連中ハ或ハ家族ヲ捨テ、逃遁シ或ハ家資ヲ典シテ負債ヲ償還シ甚シキニ至リテハ自殺ヲ企圖ナキ者ヘ生スルニ至リ續々破產者ヲ生セシヲ以テ一時取引ヲ中止スルノ已ムヲ得サルニ至リ當地金融界ハ極テ暗澹タル慘狀ニ陷リ今尙ホ回復スルニ至ラス

墨銀相場　八七十三兩四五ヲ以テ生レ月末ニハ七十四兩五二七五ニ終リ値ニ一兩方ノ騰貴ニ過キス之カ騰貴ノ原因ハ勿論銀行在庫ノ減少ニ存スルコトハ疑ヲ容レサル所ナリ

一般商況　前述ノ如ク近年未曾有ノ銀價崩落ハ一般商取引ヲシテ殆ト中止ノ狀態ニ陷ラシメ重要輸入品ノ一タル綿段物ノ如キ北清長江筋共ニ極テ不況ヲ呈ス特ニ十月中遞日ノ降雨ハ長江方面トノ

特 7338 号

需擔ヲ遮斷セシメシカメ例年ノ如キ冬物ノ需要ヲ見ス又北清方面ニ於テモ農產物不況ノタメ是レ亦抄〻シキ取引ヲ見ス今此方面ニ向ケ綿段物ノ再輸出高ヲ調査スルニ左ノ如シ

	自一月至十月	自一月至十月
	三十九年	四十年
膠州灣（雲齋布）		
芝罘（雲齋布）	一四、七二一、九五	一、八二七、〇四一
	一五四、九〇一四	一、三二一、〇三五
天津（雲齋布）	一、〇八六、五四	一、三二一、〇〇〇
	二、〇八六、〇〇〇	二、三二一、〇〇〇
	一、三二一、〇〇〇	一、三二一、〇〇〇
牛莊（雲齋布）	一四、三一一、〇三五	一、八七五、〇〇〇

右ノ如ク之ヲ昨年度ニ比スレハ天津ニ於ケル雲齋布牛莊ニ於ケル雲齋布トノ外著モ昔減少ヲ示セリ

次ニ本月中重要產物ノ輸出高ヲ調査スルニ左ノ如シ

九月十月

羽毛	二、四七二、〇〇〇	一、八二七、〇〇〇	減
苧蔴	四七三、〇〇〇	六九一、〇〇〇	增
山羊革	一、五一二、〇〇〇	二、〇七七、〇〇〇	增
羊革	八、七八四	五五、五〇〇	減
毛氈	六八、三六九	三、八四六	減
山羊毛	二、一一〇	三、八四四	增
羊毛氈	一、三八、五〇二	六四〇	減

右本月輸出高ノ內日本ヘ向ケ輸出シタル額左ノ如シ

羽毛	一、九五四、〇〇〇	一、〇〇〇	減
苧蔴	一、〇五五、〇〇〇	一、〇〇〇	減
山羊毛	五〇、〇〇〇	五八、〇〇〇	增
羊毛氈	一、四三、八一二、〇〇〇	一、九〇五、五〇〇	減

右ノ如ク之ヲ昨年度ニ比スレハ天津ニ於ケル雲齋布牛莊ニ於ケル雲齋布トノ外著モ昔減少ヲ示セリ

次ニ本月中出入船舶ノ數及噸數ヲ調査スルニ左ノ如シ

國名	入港 隻數	入港 噸數	出港 隻數	出港 噸數	出入合計 隻數	出入合計 噸數
英國	一六五	一〇九、五四一	一七〇	三〇三、一四四	三三〇	五九九、五八二
日本國	五七	一〇九、五二八	六二	一一七、二四七	一一九	二二六、七八五
清國	七八	九一、九〇六	八一	九九、九六二	一五九	一九一、八六八
獨逸國	三六	九九、四二〇	三二	五七、六七四	六九	一二七、〇九四
佛蘭西國	二四	四七、〇八五	二三	四五、三五八	四七	九二、四四三
諸威國	一一	一四、一四七	一一	一四、九一六	二二	二九、一六三
米國	四	三二、七五八	五	三三、四二六	九	六六、〇八四
露國	六	一一、七二九	二	五、一五五	八	一六、八七四
澳國	二	四、二〇九	二	七、六二一	四	一五、二〇九
抹丁國	二	一、一二一	一	三、六一三	三	七、八二一
和蘭	二	四、一五五	一	三、九五三	三	七、一〇八
合計	三九二	六八、九一二	三九二	九〇、九八二	七七九	一、三六〇、〇九四

尙ホ之ヲ地方別ニ依リテ區別スレハ左ノ如シ

地方別	入港 隻數	入港 噸數	出港 隻數	出港 噸數	出入合計 隻數	出入合計 噸數
長江	八七	一四七、六一五	一〇六	一六四、六六六	一九三	三二一、二八一
南清	一五三	四五、七九	一四九	九五、三四二	三〇二	一七六、五〇七
北清	七四	一四、〇七二	九四	一五、八七九	一五八	三七、七二八
日本	八四	一八、〇七六	七九	一八、六五二	一六三	三七、七二八
合計	三四四	五九、七九八	三六三	五九、五三九	七〇七	一、一六三、三三七

○觀象

○全國氣象　十二月八日分

觀測所	氣壓	溫度	風向	風力	天氣
一					
函館	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
青森	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
秋田	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
山形	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
新潟	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
高田	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
金澤	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
福井	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
敦賀	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
舞鶴	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
宮津	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
鳥取	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
浜田	午前八時 多數	最高	東南東	快風	晴
二					
長崎	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
福岡	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
佐賀	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
熊本	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
鹿兒島	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
三					
大分	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
宮崎	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
鹿兒島	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
大阪	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
神戸	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
和歌山	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
四					
長崎	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
福岡	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
佐賀	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
熊本	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴
鹿兒島	午前八時 多數	最高	北東	快風	晴

海關銀一兩ニ付キ　邦貨　同　一弗六

同　印貨　同　一弗三

墨銀　一弗〇五

佛貨　同　三七五

獨貨　同　三〇五

英貨一磅ニ付キ　海關銀　一兩六七二

米貨一弗ニ付　同　一弗三八

○全國天氣豫報

十二月十一日

第一區 北ノ風概ネ曇後晴
第二區 北ノ風概ネ曇後晴
第三區 第二區ニ同シ
第四區 第二區ニ同シ
第五區 北ノ風概ネ晴但シ雨模樣ノ所アリ
第六區 第五區ニ同シ
第七區 北ノ風概ネ曇但シ雪模樣アリ
第八區 第五區ニ同シ
第九區 第七區ニ同シ
第十區 第七區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

十二月十一日午前九時發

北ノ風晴

○暴風警報

十二月十一日午後四時發

北ノ風曇少雨

○地震

濱田、名瀬ノ地震報告左ノ如シ

濱田 十二月十一日 午前二時二十三分零秒 午前六時二十一分二秒 午前十時二十三分十三秒

名瀬同 微 性緩急 微(感覺ナシ)

(以上中央氣象臺)

○天氣概況

淺キ低氣壓本邦大平洋岸ノ沖合ヲ東方ニ進行シツヽアリ又東海ニモ一低氣壓ノ發生シツヽアルモノアリ而シテ高氣壓ハ滿洲及北清ニ發達シ氣壓ノ急昇ヲ來シタリ本邦ハ概シテ曇天ニシテ北ノ風吹キ寒氣強ク氣溫平年ヨリ四五度モ低シト雖モ獨リ臺灣ニ於テハ天氣晴朗ニシテ溫暖ナリ又滿韓地方ハ好晴ナリ

○廣告

明治三十二年十二月廿日內閣告示第一號ニ依リ廣告料ヲ徵收スヘキ官報廣告手續大凡左ノ如シ

明治四十年十二月

印刷局

一原稿ノ字體ハ正楷ニ限ル
一用紙ハ官紙ヲ用ヒ一行ヲ十字隔テ列記スルヲ要ス但シ數同揭載ヲ要スル向ハ一行三十四字詰ノ縱書紙ヲ作リ置キ之ニ記載スルコト最モ便ナリトス
一揭載ヲ要スル日數ト活字數トハ之ヲ原稿中ニ記入セラルヘシ
但シ本文ハ六號活字ニ限リ四號又ハ五號活字ハ來行ノ記名日付及會社名等ニ限ル
一夠行ニ置ク四號活字ノ標目ハ事類ニ應シテ當局之ヲ撰記スヘキニ依リ各自ノ撰定ニ任セテ廣告料ヲ徵收スルノ限ニアラス
一廣告料ハ左ノ割合ヲ以テ納金セラルヘシ

四號活字 一行(二十六字詰)	一回 金四十五錢
五號活字 一行(三十四字詰)	一回 金四十錢
六號活字 一行(四十五字詰)	一回 金三十錢

罫表等ヲ挿入スルモノハ前項ニ比準シ行數ニ見積リテ計算ス又()或ハ「ハ一字トシテ計入ス
右一行何字詰トアルハ章句ノ連續セルモノヽ計算ニシテ其他ハ總テ字詰ニ依ラス行數ニ應シテ計算スルモノトス
一同一事項ニシテ記載方多岐ニ渉ルモノハ當局ニ於テ一定ノ文例ニ依リ實際提出數ノトキ斟酌スルコトアルヘシ
前數項ノ例規ニ準據セサル廣告ハ返送スルコトアルヘシ

○免許證無效

第四八六四號 醫師免許證 一枚 但シ明治十七年五月二十日大分縣士族加藤宗吉ヘ下付ノ分
第一四七九號 藥劑師免許證 一枚 但シ明治三十三年六月二十二日大阪府平民木村久治郎ヘ下付ノ分
右孰モ紛失ニ付キ無效トス

明治四十年十二月

內務省

○學生募集

明治四十一年四月入學セシムヘキ本館學生本科第一學年ニ三十人專科第一學年ニ三十人ヲ募集ス其要項左ノ如シ尚ホ本館規則書ヲ要スル者ハ郵券二錢ヲ添ヘ本館ニ申越スヘシ

伊勢字治山田市

神宮皇學館

明治四十年十二月

(一)入學資格 本科第一學年ニ入學セントスル者ハ官公立中學校及文部大臣ニ於テ陸兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度以上ト認メラレタル私立中學校卒業ノ者及專門學校ニ入學ノ資格アル者タルヲ要ス
專科第一學年ニ入學セントスル者ハ同上中學校第三學年終了ノ者及滿十六歲以上ニシテ本館規定ノ入學試驗ニ及第シタル者タルヲ要ス
(二)入學出願手續 入學志願者ハ本館規則第十九條ニ依リ入學願書ニ履歷書及卒業學校長ノ學業成績證ニ品行ノ證明書若クハ專門學校入學試驗合格證ヲ添ヘ明治四十一年四月二日マテニ本館ニ差出スヘシ若シ郵便ニ付スルトキハ右期間內ニ本館ニ到著スルコトヲ要ス但シ郵便ハ書留ヲ以テスヘシ
(三)出願期日 入學志願者ハ總テ明治四十一年四月六日午前九時本館ニ出願スヘシ
(四)選拔試驗 本科入學志願者ハ英語國語漢文歷史本科選拔試驗及專科入學試驗ハ明治四十一年四月七日ヨリ本館ニ於テ施行ス
(五)試驗場所及期日 本科第一學年ニ貸費生若干人ヲ置ク但シ第一學期ノ終ニ於テ之ヲ選拔ス
(六)貸費生 本科第一學年ニ貸費生若干人ヲ置ク但シ第一學期ノ終ニ於テ之ヲ選拔ス
(七)入學許可ノ上ハ直ニ寄宿寮ニ入ラシム

○寄贈品

明治三十七八年戰役ニ國ヲ各地陸軍病院ニ於テ受領シタル寄贈品及篤志者ノ氏名(追加)左ノ如シ

明治四十年十二月

陸軍省

受領年月日	品目	數量	寄贈者住所	官位勳階	氏名
三八七二	樟太島金鵄	一七〇枚	石川縣金澤市石浦町一〇	政教新聞株式會社	
同	團扇	七〇〇〇枚	同市廣坂通日水赤十字社篤志看護婦人會石川支會長男爵夫人	大島貞子	
同八	扇子	三〇〇〇本	同縣石川郡上金石町字上濱町一〇同郡上金石疎常高等小學校高等第四學年總代	金森次郎	
同	一	一〇〇五	同縣江沼郡分校村字打越トノ二五同縣江沼能美兩郡本願寺派各寺院總代	弓波瑞懸	
同	慰問袋	六七〇枚	福井縣有志子女總代同縣知事正五位勳四等	坂本彰之助	
同	兒童成蹟繪	四〇五〇〇	石川縣能美郡串村字串同郡教員國稚代表者同郡長	中村文彥	
同九	狀袋	二〇〇冊	福井縣今立郡鯖江町同郡長及町村長代表者同郡長	土持榮白	
塵	紙	二〇〇〇〇	兵庫縣姬路市北條口福井縣敦賀郡敦賀町愛國婦人會敦賀分會長	金谷安子	
同一三	造花	三四〇〇	東京市芝公園地七號ノ二曹洞宗永平寺	森田悟由	
同一三	旗(國旗品共)	八六〇〇部	石川縣金澤市小立野新町九二背山流北陸道總取締雲松園社中總代	辰巳孝太郎	
同	道ノ杖折	九〇〇〇	石川縣金澤市彥三七番丁板村方	宇川照子	
同	教諭衍義	五〇〇〇	福井縣坂井郡三國町今新區三國川吟社代表者	澤田一井	
同一四	生花	五〇瓶	同郡同郡芦原村二鏡社代表者	堀井四郎平	
同一五	卷煙草(山櫻)	四〇箱	岐阜縣揖斐郡役所內日本赤十字社岐阜支部同郡委員部社內一同代表者同委員長	高橋俊益	
同	短冊(發句)	二〇〇〇枚	同縣岐阜市東都賀佐町	櫛松倫	
同	同	五八	富山縣射水郡堀岡村尼講中世話人	(四組丁六之助 水卷櫛之助)	
同一八	團扇	八〇〇本	富山縣射水郡富山市清水町同縣婦負郡愛國婦人會代表者同會長	前田久美	
		二六〇〇〇	同縣上新川郡東岩瀨町同郡佛教軍人保護會代表者同會長	富田存證	
「ハンカチーフ」		二五一枚	石川縣金澤市下石引町三五	盛田鶴次郎	
手拭		一〇〇〇筋	同縣江沼郡錦城尋常高等小學校外七校代表者同郡長	松島喜五郎	
同一九	戰時佛教	五冊	同縣金澤市下石引町三五	村上義雄	
同	同	五八	同縣魚津市同郡同市佛教軍人保護會代表者同會長	北方悟子	
同	同	二六	同縣魚津市同郡同市	蓮野毅次郎	
同	團扇(銀世界)	二五〇〇本	四位勳三等	岡野秀學	
		六三四〇	富山縣上新川郡富山市滿願寺村尼講中總代	川波アサイ	
同	押影額	一〇〇面	同縣金澤市天神橋二丁目一六		
同	塵紙	一〇〇〇帖	同縣金澤市尾張坂通二丁目一六	北方悟子	
同一七	生徒圖畫綴方成績圖畫	四三	同縣金澤市尾張坂通二丁目一六	蓮野毅次郎	
同	同	二九九〇〇〇	同縣魚津市	岡野秀學	
同	同	三一二五〇〇〇	同縣金澤市尾張坂通二丁目一六	北方悟子	
同	同	一〇〇〇〇	富山縣上新川郡東岩瀨町	蓮野毅次郎	
同	同	一〇〇〇〇	同縣射水郡作道村字野村新休寺下久々	岡野秀學	
同	同	二六〇〇	港村尼講中總代	川波アサイ	
同	同	二四〇	同縣同郡同村字作道新休寺下作道村尼講中總代		

以上金澤陸軍病院ニ於テ受領ス

○撥兵院寄附

昨三十九年當省告示第十五號撥兵院寄附金錢物件取扱手續ニ依リ受領シタル金錢及寄附者ノ氏名左ノ如シ

明治四十年十二月

陸軍省

受領年月日	寄附者住所	官位勳功爵	氏名
四〇一二五	島根縣		島根縣那賀郡雲城村大字七條波邊阪太外十三名總代同所
	三一〇〇		佐々木幸太郎
	各自出金額內譯住所前同波邊阪太同佐々木幸太同山東綿太同波邊五郎同山東市造同波邊勘太同山縣伊勢太同波邊彥太同波邊藤太同波邊清市同原田荷吉同佐々木淺市同山縣勘助同田中國市同大崎啓市同佐々木政市各十二錢五厘宛出金		佐々木源太

○登記公告方

明治四十一年中當廳並ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ハ三重縣宇治山田市ニ於テ發行スル伊勢新報ニ揭載ス

明治四十年十二月

山田區裁判所

明治四十一年中當廳並ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル法人商業其他法定ノ登記公告ハ愛媛縣松山市ニ於テ發行スル海南新聞愛媛新報伊豫日日新聞ニ揭ケテ公告ス

明治四十年十二月

松山區裁判所
宇和島區裁判所
西條區裁判所
大洲區裁判所
今治區裁判所
八幡濱區裁判所

明治四十一年中當廳裁判所並ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法令ノ規定ニ因ル登記公告ハ宮城縣仙臺市ニ於テ發行スル東北新聞及河北新報ニ揭載ス

明治四十年十二月

仙臺區裁判所
大河原區裁判所
古川區裁判所
石卷區裁判所
登米區裁判所
氣仙沼區裁判所

明治四十一年中當廳裁判所並ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法令ノ規定ニ依ル登記公告ハ青森縣弘前市ニ於テ發行スル弘前新聞ニ揭ケテ公告ス

明治四十年十二月

弘前區裁判所

○工場財團

機器ノ部

三	相交流式百「キロワット」六十「サイクル」發電機一基浦製作所製)ニ臺	一臺
一	同上用三「キロワット」直流勵磁用發電機(同)	一臺
一	大理石製配電盤「メートル」類	一式
一	(同)	六箇
一	G.E.避雷機	一式
一	徑五尺米國「ベルトン」會社製水車(附屬品共)	一基
一	同上用「デプログルメカニカル」式調整器(米國製)	一箇
一	調率(大阪木炭組製)二枚合サ四十七尺三寸幅十六吋	長一條
一	同上(同)長サ二十五尺幅二吋半	一條
一	同(同)長サ十八尺五寸幅二吋半	一條
一	發電所變壓器(浦製作所製)二基	二箇
一	給水用鋼鐵板製徑十八吋延長三百九十尺鐵管	一箇
		三十本

第7338号

同	機械内	厚サ二分五厘	十本
同	同	厚サ二分	七本
同	同	厚サ一分五厘	七本
同	伸縮管	厚サ二分	二本
同	喇叭管	厚サ同上	一本
同	用動管	厚サ同上	三箇
一	護謨六番線（發電所用）		七百二十二尺
一	風速機		一箇
一	電話機		三箇
一	試驗器具		一式
一	千二百燭光電燈		十二箇
一	同上笠		六箇
一	馬力三相電動機（芝浦製）		一臺
一	馬力三相電動機（同）		一臺
一	馬力三相電動機（同）		一臺
一	馬力三相電動機（同）		一臺
一	室内取附用諸道具		一式
一	電線路ノ部		
一	電柱（附屬品共）		六百本
一	支柱		二十本
一	裸銅線（六番）		十万尺
一	被覆銅線（六番）		五万尺
一	同（八番）		七百三十六
一	同（十二番）		百三十八尺
一	同（十二番）		五千尺
一	同（十四番）		五千尺
一	同（十二番）		三十五尺二百
一	護謨巻線（八番）		二万尺
一	同（十二番）		四万五百八十尺
一	同（十四番）		一万三千二百二十尺
一	同（十六番）		一万四千七百
一	同（十八番）		五千七百三十尺
一	木綿被覆線（十四番）		一万五千尺
一	同（十六番）		二十尺
一	電話用鐵線		二百四十貫目
一	木綿巻「コード」類		一万三千尺
一	變壓器（一基附屬品共）		六箇
同	一基半（同）		四箇
同	二基半（同）		十一箇
同	三基（同）		六箇
同	五基（同）		四箇
同	十基（同）		三箇
同	七百五十「ワット」（同）		六箇
	接地裝置器		四十箇
	「トルソン」式切斷器		五十箇
	GE形切斷器		百二十箇
	開閉器		二百五十箇
	安全器		八百箇
	「ロゼット」		二千四百箇
	「ソケット」		二千四百箇
	「プラケット」		百五十箇
	「セードホルダー」		二千四百箇
	「セード」及「セードホルダー」共		二千四百箇
	自熱電燈球及「グリート」		二万二千箇
	「ソケット」		二万二千箇
	「ラップ」		二万三千三百箇
	陶管		千箇
	「モールディング」		一万四千七百

右ハ鳥取電燈株式會社工場財團ニ屬スヘキモノトシテ所有權保存登記ノ申請アリタリ依テ右工場財團ニ屬スヘキ動產ニ付キ權利ヲ有スル者又ハ差押假差押若クハ假處分ノ債權者ハ明治四十一年一月二十五日マテニ當廳ニ其權利ヲ申出ツヘシ

右工場抵當法第二十四條第一項ニ依リ公告ス

明治四十年十二月　鳥取區裁判所中河原出張所

○工場財團公告中訂正

去月二十六日本欄内揭載工場財團公告中「鐵製大小取鍋七六箇」ハ「鐵製金大小取鍋七六箇」ト誤ニ付キ訂正ス

明治四十年十二月　濱松區裁判所

○檢定教科用圖書

中學校外國語科用

"The Naval Battles of the Russo-Japanese War."

原著者　鹿兒島縣士族　高橋順次郎
譯述者　兵庫縣士族　吉水慶太郎

右明治四十年十二月十一日檢定ス

發行者　東京府東京市牛込區天神町三十四番地　長崎縣士族　安藤兎毛喜

金一册　定價金一圓二十錢　郵稅金七十錢

檢定教科用圖書裝釘變更

著作者　齊藤功太郎、佐藤禮介　圖書名　高等女學校植物學教科書　卷冊一冊

明治四十年十二月　文部省

○漁獵職員試驗

定期試驗

左ノ期日及場所ニ於テ漁獵職員定期試驗ヲ行フ但シ試驗ヲ受ケントスル者ハ本月十八日マテニ願書ヲ農商務省水產局ニ差出スヘシ

期日　本月二十日ヨリ　場所　東京　水產講習所

臨時試驗

左ノ期日及場所ニ於テ漁獵職員臨時試驗ヲ行フ但シ試驗ヲ受ケントスル者ハ明治四十一年十日マテニ願書ヲ農商務省水產局ニ差出スヘシ

期日　明治四十年一月二十七日　場所　宮城縣牡鹿郡石卷町

各種漁獵長（期日　明治四十年一月二十七日　場所　丙種漁獵長（期日　明治四十年一月二十七日

漁撈手試驗（場所　東京　水產講習所）　漁撈手試驗（場所　宮城縣牡鹿郡石卷町

明治四十年十二月　農商務省

○貯金通帳亡失及盜難

左記貯金通帳亡失及盜難ニ罹リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ屆出ツヘシ

明治四十年十二月

記番號	預ケ人氏名	郵便局所名
五一二八	武藏	浅草馬道
三〇六九	同	日本橋堀江
二三五二五	同	本所
四九八五	同	水戸根津宮
三三三	常陸	小豆畑
一四五二	波島	函館西川
八七三	後志	山本函
一〇五五	錢	清水
一〇五五	安房	上總富
二八九三ノ二	同	稻葉
一五八四	相模	深
二二二	武藏	笹
三三四四三	同	田
八七五	越後	下
一五五六	信濃	松
三二六九	三河	矢
九七二二	尾張	熱
八八八	岩代	八
一二〇三	下野	喜
三四〇三	羽前	向
五七〇	美濃	土
三四〇三	陸中	岐
九四二	同	里
七五八〇	武藏	四ツ谷見附
八五二	同	下谷池之端
二四三	信濃	長
二四二	同	中野
二四二	同	盛雄
四六〇五五	郵便理所	爲替貯金管

右明治四十年十二月十一日檢定ス

明治四十年十二月

記番號	預ケ人氏名	郵便局所名
韓ろる	安	安
五四	韓ろる	州
三一五九	成	川上
韓いけ	與	一助
二二三八	穂田	穂田
韓いふ	吉之助	吉
二二四二	同	平田
同	鹿藏	鹿藏
同	伊藤	中代

○口座脫退

左記ノ者ヨリ郵便振替貯金口座脫退ノ請求アリ

明治四十年十二月

番號	住所
二九〇〇	佐賀縣小城郡牛津町

○證券保管通帳亡失

左記證券保管通帳亡失ニ付キ自今無效トス但シ其所在ヲ發見シタルトキハ速ニ郵便爲替貯金管理所ニ通報スヘシ

明治四十年十二月

記番號	預ケ人氏名	郵便爲替貯金管理所
愚韓	五四一九	統監府通信管理局

右紛失ノ旨屆出テタリ

明治四十年十二月

○兔狀紛失

第九六三號　乙種三等狩獵免狀

右紛失ノ旨屆出テタリ

明治四十年十二月

○營業停止

山武郡上堺村屋形八百九十番地平民古物商　渡邊啓助

古物商取締法第十四條ニ依リ本月九日ヨリ明治四十一年三月八日マテ三箇月間其營業ヲ停止セリ

明治四十年十二月　千葉縣

○村役場位置變更

敎賀郡東郷村役場位置ヲ今般同村谷口第四號六番地ニ變更セリ

明治四十年十二月　福井縣

○購買入札

一石炭（空知粉炭）　百万斤　但シ明治四十一年一月二十五日マテニ印刷部納入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ二年以上明瞭ナル實業ニ從事セル旨市區町村長ノ證明ヲ有スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ本月二十六日マテニ當部ニ出願標本及入札契約心得書熟覽ノ上同二十七日午前十時マテニ體明書及入札保證金ヲ同十時三十分マテニ入札書ヲ當部ニ差出スヘシ同日午前十時三十五分開札ス

此契約ハ印刷局長事務取扱印刷局技師佐田清次擔任ス

明治四十年十二月十二日　印刷局會計部

一銃器運搬箱　七百箇　一銃器運搬箱木栓　七千箇

以上入札保證金各自見積價格百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ二年以上明瞭ナル實業ニ從事セル旨市區町村長ノ證明ヲ有スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ本月二十六日マテニ當廳ニ銃器入札心得書契約書案及見本品等熟覽ノ上營業證明書ヲ同日午後四時マテニ提出シ同二十七日午前十時三十分限入札ス（入札ハ即時開札ス）

此契約ハ陸軍兵器本廠長押上蔡藏擔任ス

明治四十年十二月十二日　陸軍兵器本廠

第7338号　本文

第一號　農具　蒸汽機鎚（八馬力）　一壺
第二號　同　来國製輪製鋸外十二點
第三號　同　木製破碎把外十六點
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上入札者ハ二年以來其業ニ從事セル者ニ限ル
右賜買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ號キ契約書案及入札入心得書等熟覽ノ上本月二十六日後二時限營業證明書及入札保證金ヲ添（入札書差出スヘシ）即時同課ニ於テ開札ス
此契約ハ佐世保海軍工廠會計部長秋山藤吉擔任ス
明治四十年十二月十二日

佐世保海軍工廠會計部

第四號　同　袋外十七點
第五號　製繭製毛器械　精附屬品共外六十四點
第六號　馬療器械　外科刀外百二點
以上入札保證金請負代價百分ノ十以上（圓未滿圓位ニ切上ク）入札者ハ滿二年以上其業ニ從事セル旨市町村長ノ證明アル者ニ限ル　此證明書ハ入札前日マテ
右賜買ス入札望ノ者ハ當部倉庫課ニ號キ入札心得書　契約書案及標本等熟覽ノ上本月二十六日午前十一時限入札ヲ
此契約ハ軍馬補充部川上支部長安田徐次郎擔任ス
明治四十年十二月十二日

軍馬補充部川上支部

十八本
一日無制管
右賜買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ號キ契約書案及入札入心得書等熟覽ノ上本月二十六日後二時限營業證明書及入札保證金ヲ添（入札書差出スヘシ）即時同課ニ於テ開札ス
此契約ハ佐世保海軍工廠會計部長秋山藤吉擔任ス
明治四十年十二月十二日

佐世保海軍工廠會計部

一鋼類　腐金外一點　以上新橋納
右本月十九日當部ニ於テ入札執行
一「ターペンタイン」　一壺
一廢物　上等硬質鋼　七百五十本
「ハイモア」同等質丸鐵　千二百本
並質硬鋼　六組
排水喞筒　以上新橋納
一八呎旋盤（附屬品共）　一臺
一同十四吋旋盤（同）　一臺
一同十六吋旋切機械（同）　一臺
一螺旋機械（同）　一臺
一「プレーニングマシーン」　一臺
一研磨機械（附屬品共）　二臺
一電動機（附屬品共）　二臺
一直立錐機械　以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上入札者ハ前記各部所ニ號キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上當日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ帝國鐵道廳計理部長國師民嘉擔任ス
明治四十年十二月十二日

帝國鐵道廳計理部

一圓鋸機械（鋸共）　二臺
一石油發動機（附屬品共）　三臺
以上手宮札幌又ハ室蘭納
右本月二十七日當部ニ於テ入札執行
一鍛鐵管（鐵管共）　七種
上野納
右本月二十七日上野營業事務所ニ於テ入札執行
一石炭第三種　二百五十万斤
神戸納
右本月十九日神戸營業事務所ニ於テ入札執行
一彩料類　四點
神戸納
右本月二十七日神戸營業事務所ニ於テ入札執行
一竪木炭　二万貫目
沼垂納
右本月二十七日長野營業事務所ニ於テ入札執行

帝國鐵道廳計理部

杉一千一百十八本　材積十尺〆七九　但シ皆取ノ分
附帯義務　本林ハ三宮七民ノ部合ヲ以テ明治二十五年三月ヨリ同百五年二月迄本村宮崎直記外二名（造林許可中
仙第一五號
同上大衡村大字廟場字古田澤
一實測面積三町四段六畝十歩
杉五本　材積四尺〆一五
同四百九本　同十九棚八七
栗三千五百二十八本　同二十八棚五一
雑二千三百十六本　同二十一棚〇二
第一二號
同上宮谷村大字富谷字佛所二三四、二二六番、北澤二四二五番、南澤二一番目渡三四番
國有原野面積五十七町二段九畝十歩
一實測面積六十三町六段三畝二十一歩
小松五百東
第一七號
同上字唐竹澤六八番
國有原野面積十二町四段六畝歩
一實測面積十二町七段五畝二十五歩
（自石小林區部内）
第三號ノ一
同上刈田郡小原村字七里澤一九番
國有林面積五十九町四段四畝二十四歩ノ内
一實測面積八十七町九段七畝二十七歩
（古川小林區部内）
第一六號ノ内
同上志田郡下伊場野村大字下伊場野字館崎（龍谷寺上地）
國有林面積七段三畝十五歩ノ内
一實測面積三段十歩
杉四十本　材積十二尺〆三二
雑二百本　同四棚九〇
第一六號ノ内二
同上字館崎（龍谷寺上地）
國有林面積七段二畝十五歩ノ内
一實測面積四段二畝十三歩
杉八十本　材積十尺〆五三
雑百九十六本　同三棚九二
第一七號ノ二
同上本吉郡小木町大字伊賀字松ノ澤外二ヶ鉛ノ内久々
國有林面積六十六町三段五畝十八歩ノ内
一實測面積二町一段二畝十六歩
雑一千九百七十五本　材積三十九棚四三
同第一四號
同上松山町大字高寺森
國有林面積八百六十二畝二十三歩
一實測面積二畝十五歩
杉二尺〆三〇
第一二號
同上鹿島灘村大字廣長字三郎浦八郎形（無清水

國有林面積七町八段歩
一實測面積八町三段二畝二十六歩
同上遠田郡大貫村大字大貫字貝畑浦四八番
一見込面積二畝四歩
第七九號
同上南郷村大字多田沼字南荒田九番
國有原野面積二畝三歩
一實測面積二畝八歩
第八〇號
同上字南荒田七番
國有原野面積十三歩
一實測面積十二歩
第八一號
同上字南荒田一四番
國有原野面積二十四歩
一實測面積十二歩
同上字峰ケ森
國有原野面積二十四歩
一見込面積二畝四歩
第二五號ノ一
國有林面積二十四町五畝八歩
一實測面積二十四町五畝八歩ノ内
杉百六十本　材積六十一棚五九
雑二千三百四十三本　同九十四棚一七
第二五號ノ二
國有林面積二十二町八段八畝歩ノ内
一實測面積十二町一段八畝二十三歩
雑四千二百六十八本　材積十六棚八一
第一〇號
同上玉造郡温泉村大字大口字沼井五番
國有林面積四十六町二段七畝歩
一實測面積二十七町七段九畝十二歩
第四〇號
同上一栗村大字池月字名生法山二番
國有林面積十九町四段歩
一實測面積三十六町三段三畝七歩
杉一十一本　材積一棚五六
同上四大崎村大字南澤字喜左衛門山三三番
國有林面積四段五畝十八歩
一實測面積二段七歩
第六五號
同上真山村大字下山里字東小坪
國有林面積三十七歩
一實測面積四段二畝十三歩
同第七七號
同上字六田
國有林面積一町一段二畝二十四歩
一實測面積一町四段七畝二十八歩
第六八號
同上字清水
國有林面積八段九畝二十四歩
一實測面積一町五段三畝九歩

（登米小林區部内）
第一〇八號
同上登米郡米川村大字轟測字北手外一八、一九番
國有原野面積二段五畝十六歩
一實測面積六段六畝四歩
第一〇九號
同上字飯土井六六番
一實測面積四畝十一歩
第一三〇號
同上石森村大字加賀野字熊ノ堂一番
國有原野面積三町六段六畝十四歩
一實測面積三町九段七畝十七歩
第一七號
同上新田村字大上山
國有林面積四町二段歩
一實測面積三町二段七畝六歩
松三百六十五本　材積六棚二二
第一八號
同上字清水山
國有林面積三町三段二畝十八歩ノ内
一實測面積一町八段五畝十二歩
松百五十本　材積四棚五九
第五號
同上南方村字西郷下實澤六五番ノ一
國有原野面積七段五畝二歩
一實測面積一町二段八畝九歩
第一九號
同上字八八番
國有原野面積八畝九歩
一實測面積四畝二十七歩
第一〇號
同上字高谷地五八番
國有原野面積八畝九歩
一實測面積四畝二十七歩
第一二號
同上本吉郡戸倉村字岡山
國有林面積六畝歩
一實測面積六畝二十一歩
小柴二十束
第四三號
同上字輕石山上畑山
國有林面積二段二畝十二歩
一實測面積二段二畝二十六歩
杉九本　材積三尺〆六六
雑百七十三本　同四棚三八
（編仙沼小林區部内）
小柴四十三束
第一七號ノ二
同上本吉郡新月村大字月立字廟巣山外二ノ内細植山ノ内
國有林面積三十五町九段二畝十五歩ノ内
一見込面積二段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村熊谷愛助ヘ貸付中
第一七號ノ一
同上字高野六田
國有林面積一町一段二畝二十四歩
一實測面積一町四段七畝二十八歩
第六八號
同上字月濱五番
國有林面積八段九畝二十四歩
一實測面積一町五段三畝九歩

第一七號ノ四
同上字鷲巣山外二ノ内細植山ノ内
國有林面積三十五町九段二畝十五歩ノ内
一見込面積二段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村熊谷民治ヘ貸付中
第一七號ノ五
同上字鷲巣山外二ノ内細植山ノ内
國有林面積三十五町九段二畝十五歩ノ内
一見込面積二段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村熊谷民治ヘ貸付中
第一七號ノ六
同上字鷲巣山外二ノ内細植山ノ内
國有林面積三十五町九段二畝十五歩ノ内
一見込面積二段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村吉田清之進ヘ貸付中
第一七號ノ七
同上字鷲巣山外二ノ内細植山ノ内
國有林面積三十五町九段二畝十五歩ノ内
一見込面積二段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村吉田寅藏治ヘ貸付中
第一七號ノ八
同上字鷲巣山外二ノ内細植山ノ内
國有林面積三十五町九段二畝十五歩ノ内
一見込面積二段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村吉田寅治ヘ貸付中
第一七號ノ九
同上字鷲巣山外二ノ内細植山ノ内
國有林面積三十五町九段二畝十五歩ノ内
一見込面積二段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村熊谷長左衛門ヘ貸付中
第一六號ノ三
同上字後澤山外二ノ内
國有林面積百三十六町二段歩ノ内
一見込面積二段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村熊谷長左衛門ヘ貸付中
第一六號ノ四
同上字後澤山外四ノ内
國有林面積百三十六町二段歩ノ内
一見込面積二段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村熊谷長左衛門ヘ貸付中
第一六號ノ五
同上字後澤山外四ノ内
國有林面積百三十六町二段歩ノ内
一見込面積二段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村熊谷長左衛門ヘ貸付中
第一六號ノ六
同上字後澤山外四ノ内
國有林面積百三十六町二段歩ノ内
一見込面積二段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村藤地由右衛門ヘ貸付中
第一六號ノ四
同上字後澤山外四ノ内
國有林面積百三十六町二段歩ノ内
一見込面積一段歩
附帯義務　本林ハ畑敷トシテ明治三十七年四月ヨリ同四十一年三月迄本村藤地由右衛門ヘ貸付中
（石巻小林區部内）
第一一號
同上十三浦村大字月浦字月浦一六番
國有原野面積一段四畝七歩
一見込面積一段六畝十六歩
第一七號
同上字月濱五番
國有原野面積一畝一歩
一見込面積一畝三歩

一五万二千四百貫目　旭川納
右賜買ス入札望ノ者ハ旭川出納事務所ニ號キ入札入心得書及契約書案等熟覽ノ上本月二十七日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ北海道帝國鐵道管理局長野村彌三郎擔任ス
明治四十年十二月十二日

北海道帝國鐵道管理局

本月四日本欄内拠龍賜買入札公告中ユニバーサルミリングマシン外一廠ニ對スル契約保證金請負代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
明治四十年十二月十二日

○購買入札公告中訂正

一竪木炭　入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右賜買ス入札望ノ者ハ神戸營業事務所ニ號キ入札入心得書及契約書案等熟覽ノ上本月二十七日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ帝國鐵道廳計理部長國師民嘉擔任ス
明治四十年十二月十二日

帝國鐵道廳計理部

○請負入札

一蒸汽ウヰンチ　竪立形汽鎚　二點
中央停車場敷地納
右本月十九日入札執行
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上入札者ハ二年以來引續キ此種ノ工事請負業ニ實際從事スル旨市區町村長ノ證明ヲ有スル者ニ限ル　此證明書ハ本月二十六日マテニ提出スヘシ
右請負望ノ者ハ契約書案及工事請負入札入心得書ハ當部建築科ニ位置ハ現場ニ號キ熟覽ノ上本月二十七日午前十時限　科ニ入札スヘシ　十時三十分同科ニ於テ開札ス
此契約ハ吳海軍經理部長土井順之助擔任ス
明治四十年十二月十二日

吳海軍經理部

○工事請負入札

一吳海軍工廠敷地開墾下水附替及增築工事　入札保證金各自見積金高百分ノ五以上入札者ハ二年以來引續キ此種ノ工事請負業ニ實際從事スル旨市區町村長ノ證明ヲ有スル者ニ限ル　此證明書ハ本月二十六日マテニ提出スヘシ
右請負望ノ者ハ契約書案及工事請負入札入心得書ハ當部建築科ニ位置ハ現場ニ號キ熟覽ノ上本月二十七日午前十時限　科ニ入札スヘシ　十時三十分同科ニ於テ開札ス
此契約ハ吳海軍經理部長土井順之助擔任ス
明治四十年十二月十二日

吳海軍經理部

○入札拂下

一古制服類　二十八點　神戸渡
右賜買ス入札望ノ者ハ神戸營業事務所ニ號キ入札入心得書及契約書案等熟覽ノ上本月二十七日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ帝國鐵道廳計理部長國師民嘉擔任ス
明治四十年十二月十二日

帝國鐵道廳計理部

○林野賣拂

昨十一日本欄内掲載宮城大林區署公告ノ續
（仙臺小林區部内）
第九五號
陸前國宮城郡大澤村大字大倉字横川岳嶽山
國有林面積一万一千七百九十三町六段歩ノ内
一實測面積六歩
附帯義務　本林ノ内面積十歩ハ溫泉敷トシテ明治三十八年四月ヨリ同四十二年三月迄本村石垣長左衛門ヘ貸付中
第三一號
同上松島村大字櫻渡戸字雁ケ澤三番
國有原野面積一歩
一實測面積一畝二十七歩
第二三號ノ一
同上曝釜町字臺七番
國有原野面積一畝二十歩ノ内
一實測面積九段二十三歩
松百八十本　材積二棚五〇
附帯義務　本地ノ内一段八畝二十歩ハ物干場トシテ明治三十八年十月ヨリ同四十三年三月迄本町丹野龍之助ヘ貸付中
第二三號ノ十七番
同上字臺十七番
國有原野面積一畝歩
一實測面積一畝歩
附帯義務　本地ノ内一段九畝歩ノ内
松三百六十七本　材積十三棚二九
雑六十一本　同一棚二九
附帯義務　本地ノ内五段四畝二十七歩ハ製板工場用地トシテ明治四十年三月ヨリ同四十一年一月迄本町味戸儀助ヘ一町六段八畝十三歩ハ鑛業用小屋掛敷トシテ明治四十年一月ヨリ同四十年十一月迄若生鑛業ヘ貸付中
第二三號ノ三
同上字臺十七番
國有原野面積四町一段歩
一實測面積六段三畝十六歩
附帯義務　本地ハ　水素試驗場敷地トシテ明治三十七年八月ヨリ　同四十七年七月迄宮城縣ヘ貸付中
第二三號ノ四
同上字臺一七番
國有原野面積一段歩
一實測面積四畝歩
附帯義務　本地ハ肥料製造場トシテ明治三十一年八月ヨリ同四十二年三月迄本町昌浦清吉ヘ貸付中
仙第二三號
同上黒川郡富谷村大字宮床字八幡社上地
國有部分林面積五段十三歩
一實測面積五段十一歩

一鐵具類　手宮札幌岩見澤又ハ室蘭納　十二點
右本月二十七日入札執行

特手 7338 本文 5

第六號
同上大字追波字孤谷地一〇四番
國有塚野面積二段八畝二十歩
一見込面積二段四畝十六歩
第一八號
同上字川中淵四〇七番
國有原野面積二段四畝十九歩
一見込面積四段四畝十九歩
第五五號
同上字桃生郡桃生村大字倉焼字川二三番
國有原野面積一町二段七歩
一實測面積二町一畝二十歩
松三本　材積〇棚七〇
第五九號
同上二殷村大字三輪田字立澤山五〇番
國有林面積十三町七段二畝十五歩
一實測面積十町二段二畝二十三歩
松三十五本　材積五棚〇一
第六三號
同上橋浦村大字長屋字西ノ入大澤山九二番
國有林面積八町一段七畝十五歩
一實測面積三十六町四段六畝七歩
杉五十八本　材積五十四尺〆四八
樅六本　同四尺〆六五一
松二十二本　同一棚六一
雜一万六千五百十二本　同百四十九棚六四
同上大字橋浦字似田澤山一番
國有林面積十町二段七畝八歩
一實測面積九町五段二畝十九歩
杉三本　材積四尺〆〇二
第六四號
同上大字久川字鳥山梨木山
國有水源涵養保安林面積五町七段歩
一實測面積七町三段六畝三歩
樅百七十一本　材積四百二尺〆三三
松十四本　同一棚二四
第六八號
同上字三條山
國有林面積二十四歩
一實測面積二段五畝歩
同上字三町三段四畝二十四歩
一實測面積二段五畝二十四歩
雜三万九千四百本　同七十五棚〇〇
第七八號
同上字中江上一三番
國有原野面積六畝二十三歩
一實測面積二畝二十九歩
第七九號
同上字大沼二番
國有原野面積一町五段七畝十五歩
一實測面積八町一畝九歩
杉三十四本　材積四十七尺〆五
八　但部分外
第七一號
同上字飯川町大字皿貝字萩ノ巻山北衛山小林山
國有林面積十一町七段七畝九歩
一實測面積十二町八段十二尺〆五
杉三十四本　材積四十七尺〆五
外　但シ部分木以
樅一本　同五尺〆七〇　材積十八
雜五千七百五十七本　棚三三
附帯義務　本林ハ一宮二民ノ部合ヲ以テ明治三十二年七月ヨリ同百十一年六月迄本村大字皿貝區ヘ造林許可中
第五五號
同上大字中島字入道本山網越山
國有林面積五町九段五畝歩
一實測面積八町七段三畝二歩
杉二十二本　材積十二尺〆六九
樅二十三本　同十三尺〆七六
雜七百八十二本　同百五十五棚八〇
第七一號
同上字屋敷入畑中七三番ノ一（天基寺境外上地）
國有林面積八段九畝十八歩
一實測面積三段二畝十八歩
杉十九本　材積四尺〆四四
樅三本　同〇棚一一三
雜九十七束　同〇棚一三
第一〇五號
同上大字成田字入山三番
國有原野面積三町歩
一實測面積十一町五段十歩
第一四號
同上牡鹿郡女川村大字女川字川尻一番
國有原野面積二畝十二歩
一見込面積十歩
第九號
同上大字堀籠字鳴瀧一番
國有原野面積七段八畝二十五歩
一見込面積七段八畝二十五歩
第七一號
同上大字大石原字大石原二番
國有原野面積一段二十二歩
一見込面積四畝歩
第三號
同上大字浦籠瀧字供養一番
國有原野面積一段二十六歩
一見込面積一畝歩
同上大字浦籠瀧字野々瀧二番
國有原野面積二畝歩
一見込面積七歩
（第二五號ノ一ヶ所ノ小林區部内）
第二五號
同上字栗原郡金成村字太郎兵工山藥ノ木澤山
國有林面積八町八段三畝十歩
一實測面積七町八段三畝十歩
杉二千二百六十二歩　材積一段六畝十二歩
樅六千七百二十六本　同百四十六尺〆七一
雜一万四千九百八十六本　同百五十三棚二七
第一八號
同上字萩野村大字豊見字入ノ澤山
國有林面積十二町一段八畝十五歩
一實測面積十二町一段八畝十五歩
松九百五十六本　材積一棚五二
第一〇九號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
松二〇一號
同上字字帳面積七段三畝歩
國有林面積七段三畝歩
一實測面積七段三畝歩
杉六本　材積一棚四〇
第一〇七號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
松二百五十六本　材積一棚五二
第一〇六號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
雜二百五十六本　材積一棚五二
第一〇五號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一〇四號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一〇三號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一〇二號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一〇一號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一〇〇號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第九九號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第九八號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第九七號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第九六號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第九五號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第九四號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第九三號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第九二號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第九一號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第九〇號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第八九號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第八八號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第八七號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第八六號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第八五號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第八四號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第八三號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第八二號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第八一號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第八〇號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第七九號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第七八號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第七七號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第七六號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第七五號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第七四號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第七三號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第七二號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第七一號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第七〇號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第六九號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第六八號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第六七號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第六六號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第六五號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第六四號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第六三號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第六二號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第六一號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第六〇號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第五九號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第五八號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第五七號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第五六號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第五五號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第五四號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第五三號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第五二號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第五一號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第五〇號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第四九號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第四八號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第四七號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第四六號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第四五號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第四四號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第四三號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第四二號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第四一號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第四〇號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第三九號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第三八號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第三七號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第三六號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第三五號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第三四號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第三三號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第三二號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第三一號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第三〇號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第二九號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第二八號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第二七號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第二六號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第二五號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第二四號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第二三號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第二二號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第二一號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第二〇號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一九號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一八號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一七號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一六號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一五號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一四號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一三號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一二號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一一號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一〇號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第九號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第八號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第七號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第六號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第五號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第四號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第三號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第二號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩
第一號
同上字字萩野面積一町二段七畝二十五歩
一見込面積一町二段七畝二十五歩

第四二號
同上字高土山一四番
國有原野面積十五歩
一見込面積一畝歩
第三五號
同上字蔵王三六番
國有原野面積一畝二歩
一實測面積一畝二歩
第五號ノ二
同上字鵜巻九番
國有原野面積三町四段六畝四歩ノ内
一實測面積三町四段六畝四歩ノ内
第五號ノ四
同上字鵜巻九番
國有原野面積二段六畝五歩ノ内
一實測面積二段六畝五歩
第一八二號
同上字要害七三番
國有林面積三畝六歩
一實測面積三畝六歩
第一八三號
同上字要害二五番
國有林面積三段二畝十八歩
一實測面積三段二畝十八歩
第一八四號
同上字要害一二四番
國有林面積一段八畝十歩
一實測面積五段二畝二十七歩
第二六號
同上字上富川原四九番
國有原野面積一畝二十四歩
一實測面積一畝二十四歩
第四八號
同上字上富川原一五番
國有原野面積三畝六歩
一實測面積三畝八歩
第三七號
同上字富小關一二番
國有原野面積二十二歩
一實測面積二十二歩
第三八號
同上字富小關四〇番
國有原野面積二十二歩
一見込面積二十二歩
第一六九號
同上字富北澤五五番
國有原野面積一段六畝十歩
一實測面積一町一段六畝十歩
松三十六本　材積一棚二七

第一七八號
同上字富坂下浦一八番
國有林面積三畝十歩
一見込面積三畝十歩
第九四號ノ一
同上字富清水山三二番
國有林面積二町四段二畝二十五歩
一實測面積二町四段八畝二十五歩
松百十八本　材積六棚〇一
第九四號ノ二
同上字富清水山三二番
國有林面積二町三段歩ノ内
一實測面積七段九畝二十五歩
第一八六號ノ一
同上字富清水山三四番
國有林面積八段四畝十五歩ノ内
一實測面積一町五段四畝十歩
第一八六號ノ二
同上字富清水山三四番
國有林面積八段四畝十五歩ノ内
一實測面積四段六畝十一歩
第一七四號
同上字富蒲盛六六番
國有林面積七段八畝歩
一實測面積三町二段六畝二十二歩
松四十六本　材積二棚一〇
第八七號
同上字富町田六五番ノ内
國有林面積十一町歩ノ内
一實測面積四町二段八畝十八歩
松九本　材積〇棚七一
第三三號
同上字富寺浦二六歩
國有原野面積一畝一歩
一見込面積二十一歩
第三四號
同上字富寺浦一〇三番
國有原野面積一畝二十五歩
一見込面積一畝二十五歩
第一六八號
同上字富寺浦七四番
國有林面積七畝十五歩
一見込面積七畝十五歩
第九一號
同上字富岩石二六番
國有林面積四町九段歩ノ内
一實測面積九段二畝二十四歩
第九九號ノ内
同上字富下富河原五七番
國有原野面積八町二段六畝十歩ノ内
一實測面積九段五畝二十四歩

○商業登記

株式會社登記簿第一册第四號株式會社第一銀行登記中變更
(三)支店所在地中四日市支店ヲ四日市市大字濱町九十五番屋敷ヨリ同市大字同町十一番屋敷ヘ移轉ス
右明治四十年十一月二十九日登記
右公告ス

明治四十年十一月三十日

合名會社登記簿第一册第一號合名會社三井物産會社長崎支店登記事項中左ノ通變更ス
一明治四十年十一月十七日長崎支店ヲ長崎市常盤町三番地ニ移轉ス
一明治四十年十一月二十五日登記
右公告ス

在清國天津
帝國總領事館

合資會社武林洋行
京都市下京區三條通烏丸東入梅忠町十番地
大阪市西區靭中通三丁目二十一番地
清國上海漢口路
清國漢口鮑家巷
清國漢口對象商品ノ輸出入ヲ爲スヲ以テ營業ノ目的トス
絹綿布諸種ノ織物絹綿紡ノ絲及雜貨ノ輸入販賣
清國產諸品ノ委託賣買
前記商品ノ輸入販賣
明治三十九年二月十五日

一目　前

一設立ノ年月日
一代表社員ノ氏名
一社員ノ氏名住所及資ノ種類價格及資任
一金一万五千圓　有限責任　京都市上京區御池通東洞院西入ル仲保利町八番
一金一万五千圓　有限責任　同市同區室町通三條北入ル役行在町八番戶
一金一万五千圓　有限責任　同市同區兩替町通三條北入柿本町十五番戶
一金一万五千圓　有限責任　同市同區柳馬場通り御池南入柳八幡町二十八番戶
一金一千圓　有限責任　同市同區室町通姉小路上ル圓福寺町十六番戶
一金七百五十圓　有限責任　同市同區室町通り三條北へ入ル役行在町二番戶
一金七百五十圓　有限責任　同市同區押小路通萩屋町西入橋町十六番戶
一金五百圓　有限責任　陸前國牡鹿郡石巻町大街通
一金五百圓　無限責任　京都府與謝郡宮津町字魚屋八百七十四番地
一金五百圓　無限責任　大阪市西區靭南通三丁目九十五番屋敷
一金五百圓　無限責任　京都府與謝郡宮津町字波路二十七番戶
一存立ノ時期
右明治四十年十一月三十二日登記

在清國漢口
帝國領事館

當館備附合名會社登記簿第二號三井物産合名會社漢口支店登記事項中左ノ通變更ス
一明治四十年十一月七日長崎支店ヲ左ノ所ニ移轉ス
右明治四十年十一月二十五日登記

在清國漢口
帝國領事館

內國通運株式會社登記事項中左ノ通追加ス
一明治四十年十二月一日左ノ支店ヲ設立セリ
韓國京城南大門外統監府鐵道管理局構內
韓國釜山港統監府鐵道管理局草梁驛構內
韓國仁川港統監府鐵道管理局仁川驛構內

京城支店
釜山出張所
仁川出張所

株式會社水戸百貨銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役ノ氏名住所
右明治四十年十一月二十二日死亡ニ因ル變更ヲ登記ス

水戸區裁判所

株式會社監査役
右明治四十年十一月三十日登記

鈴木　雅雄

株式會社第一銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一各新株ニ付拂込タル株金額
右明治四十年十一月二十九日登記

太田區裁判所大子出張所

株式會社資産銀行宇都宮支店登記事項中左ノ通變更ス
一各新株ニ付拂込タル株金額
右明治四十年十一月二十九日登記

金二十圓

株式會社資産銀行宇都宮支店登記事項中左ノ通變更ス
一各名會社支配人若山碧石衛門
宮本合名會社支配人登記簿第八册第七百十六號
一支配人氏名住所
一支配人ヲ置キタル場所
右明治四十年十一月二十九日登記

金五十圓

株式會社谷村商業銀行登記事項中左ノ通變更ス
一各株ニ付拂込タル株金額
右明治四十年十一月二十九日登記

金三十七圓五十錢

株式會社谷村商業銀行登記事項中左ノ通變更ス
一無限責任社員平林伊太郎ハ總社員ノ同意ニ依リ責任ヲ有限トス
右明治四十年十一月二十七日登記

松本區裁判所豐科出張所

安臺製水合資會社登記事項中左ノ通變更ス
一代表社員ノ氏名
一有限責任社員小口榮三郎死亡ニヨリ其家督相續人長野縣南安臺郡南穂高村四千三百八十六番地小口
有明治四十年十一月二十七日登記

松本區裁判所豐科出張所

安臺製水合資會社登記事項中有限責任社員平林伊太郎ノ住所ヲ左ノ通變更ス
南安臺郡烏川村四千六百八十六番地
一社員竹內菊五郎ハ持分全部ヲ藤原次太郎ヘ譲渡シ退社ス
一社員掛川周三ノ住所ヲ長野縣北佐久郡小諸町乙千三十九番地トス
有明治四十年十一月二十九日登記

岩村田區裁判所小諸出張所

株式會社安達社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役竹內也ハ辭任ス
明治四十年十一月二十八日登記

新潟區裁判所

株式會社水戸百貨銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役鈴木雅雄ハ水戸市上市襄信順寺町四番地ニ住居ス
右明治四十年十一月二十二日死亡ニ因ル變更ヲ登記ス

水戸區裁判所

株式會社谷村商業銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役鈴木雅雄ハ水戸市上市襄信順寺町四番地ニ住居ス
右明治四十年十一月二十二日死亡ニ因ル變更ヲ登記ス

太田區裁判所大子出張所

一合名會社設立登記
一商號
一本店
一支店
七五四
一設立ノ年月日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金五千圓　茨城縣行方郡潮來町潮來五百六十一番地
一金五千圓　茨城縣行方郡潮來町潮來五百六十一番地
一金五千圓　和洋織物類及荒物賣買營業
有明治四十年十一月二十七日登記

合名會社清見屋商店
明治四十年十一月二十三日

宮本合名會社

株式會社設立登記
一商號
一本店
一支店
一設立ノ年月日
一資本總額
一各株ニ付拂込ミタル株金額
一公告ヲ爲ス方法
一取締役ノ氏名住所
一目的

一關東州ニ於ケル製鹽業
二鹽及副產物賣買業
明治四十年十一月十八日
金五千圓
金二十五圓
所轄裁判所ノ商業登記ヲ掲載スル諸新聞紙ヲ以テス

須田孫四郎
須田孫次郎
須田いち

麻生區裁判所

株式會社水戸百貨銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役岩田悅三郎ハ水戸市上市襄信順寺町四番地ニ住居ス
右明治四十年十一月二十二日死亡ニ因ル變更ヲ登記ス

水戸區裁判所

株式會社第一銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役宮本合名會社ハ水戸市上市襄信順寺町四番地ニ住居ス
右明治四十年十一月二十二日死亡ニ因ル變更ヲ登記ス

太田區裁判所大子出張所

株式會社安達社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役岩田悅三郎ハ水戸市上市襄信順寺町四番地ニ住居ス
右明治四十年十一月二十二日死亡ニ因ル變更ヲ登記ス

太田區裁判所大子出張所

株式會社水戸百貨銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役宮本合名會社ハ水戸市上市襄信順寺町四番地ニ住居ス
右明治四十年十一月二十二日死亡ニ因ル變更ヲ登記ス

太田區裁判所大子出張所

株式會社第一銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役宮本合名會社ハ水戸市上市襄信順寺町四番地ニ住居ス
右明治四十年十一月二十二日死亡ニ因ル變更ヲ登記ス

太田區裁判所大子出張所

株式會社安達社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役宮本合名會社ハ水戸市上市襄信順寺町四番地ニ住居ス
右明治四十年十一月二十二日死亡ニ因ル變更ヲ登記ス

太田區裁判所大子出張所

株式會社安達社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役宮本合名會社ハ水戸市上市襄信順寺町四番地ニ住居ス
右明治四十年十一月二十二日死亡ニ因ル變更ヲ登記ス

太田區裁判所大子出張所

株式會社安達社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役宮本合名會社ハ水戸市上市襄信順寺町四番地ニ住居ス
右明治四十年十一月二十二日死亡ニ因ル變更ヲ登記ス

太田區裁判所大子出張所

株式會社安達社登記第二號
合名會社大和屋掛川商店登記事項中左ノ如ク變更ス
有明治四十年十一月二十九日登記

株式會社安達社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役竹內也ハ辭任ス
明治四十年十一月二十八日登記

新潟區裁判所

官報 7338 号

株式登記證第一冊第十號

一商號　内國運輸株式會社
一本店　東京市日本橋區佐内町三番地
一支店
東京市深川區富川町一番地
東京市芝口二丁目一番地
東京市神田區和泉町一番地
甲斐國甲府市橋町六番地
武藏國横濱市辨天通六丁目百六番地
駿河國静岡市紺屋町百九番地
上野國前橋市本町九番地
常陸國水戸市上市橋町二十五番地
越前國福井市目ノ出下町百十番地ノ一
越後國長岡市大字坂ノ上町七百九十四番第一號ノ二地
加賀國金澤市木ノ新保七番町四番地ノ一
伊賀國安積郡山町字燧田百五十二番地
山城國京都市下京區烏丸通七條下ル　東鹽小路町六十二番地
岩代國北會津郡一箕村大字土壇叢字石佛　四百五十番
摂津國大阪市北區梅田町二千七百八十七番屋敷
摂津國神戸市東川崎町一丁目二番屋敷
安藝國廣島市大須賀町三百三十三番地
豐前國門司市西本町二丁目四番地
筑前國筑紫郡堅粕村大字大飼六百八十四番地
肥後國飽託郡春日町字尚原六百四十八番地
上野國高崎市大字下和田町十七番地
岩代國福島市大字福島字柴町三十五番地
陸前國仙臺市南町通十一番地
羽後國山形市香澄町大字大寶寺百四十番
羽後國秋田市楢山字長沼八十四番地
陸中國岩手郡厨川村大字下厨川百六十七番地
陸奥國青森市大字安方町百五十六番地
渡島國函館區大町二十四番地
石狩國札幌區北四條西三丁目一番地
後志國小樽區手宮町十七番地
韓國釜山港統監府鐵道管理局草梁驛構内
韓國京城南大門外統監府鐵道管理局構内
韓國仁川港統監府鐵道管理局仁川驛構内
韓國京城理事廳ノ公告スル新聞紙

一目的
一設立ノ年月
一資本ノ總額
一一株ノ金額
一各株ニ付キ拂込ミタル金額
一公告ヲ爲ス方法
一取締役ノ氏名住所
一監査役ノ氏名住所
一存立ノ時期
有明治四十年十二月三日登記ス
一清算結了ノ年月日
株式會社登記簿第一冊第二十號
一商號
一本店
一目的
一設立ノ年月日
一資本ノ總額
一一株ノ金額
一各株ニ付キ拂込ミタル金額
一公告ヲ爲ス方法
一取締役ノ氏名住所

内國運輸株式會社
東京市日本橋區佐内町三番地

一目的　貨物運送（通常運送、危險搬保付運送）貨物運送取扱川舟船旅客運送
一設立ノ年月　明治五年六月不詳
一資本ノ總額　金百二十五万圓
一一株ノ金額　金五十圓
一各株ニ付キ拂込ミタル金額　舊株五十圓（一万二千五百株）　新株十二四五十錢（一万二千五百株）
一公告ヲ爲ス方法　東京區裁判所登記事項公告ノ新聞紙ニ公告ス
一取締役ノ氏名住所
東京市牛込區市ケ谷砂土原町一丁目三番地　吉村甚兵衛
東京市麹町區下二番町七十三番地　佐久間精一
東京市深川區東元町一番地　日向野善太郎
東京市神田區和泉町一番地　吉村　佐平
大阪市東區紀伊國町九百三十九番地　平川　潤亮
東京市京橋區南小田原町四丁目三番地　鈴木　重恒
東京市日本橋區伊勢町十番地　平光廣兵衛
自明治二十一年一月滿三十箇年

株式會社龍山魚市場
龍山川端町
魚具其他水産物問屋業
明治四十年十一月九日
金一万七千五百圓
金五十圓
金十二圓五十錢
京城理事廳ノ公告スル新聞紙

龍山元町二丁目　國井　泉
龍山川端町　沖津戸十郎
龍山川端町　三木熊之助

龍山旭橋通
龍山旭橋通
明治四十九年八月迄

一存立ノ時期
有明治四十年十二月四日登記

京城理事廳

一目的　本船船株式會社登記事項變更
一監査役左記二名ハ任期滿了ノ所明治四十年十一月二十七日株主總會ニ於テ再選重任シタリ
東京市麹町區下六番町十一番地　有島　武
東京市小石川區西江戸川町十八番地　飯田　巽

今本丑太郎
川田　又藏

右明治四十年十二月六日登記ス　元山理事廳
一支配人ノ氏名住所　吉川佐太郎
一主人ノ氏名住所　韓國清津港　追間房太郎
一主人ノ營業　韓國釜山港本町二丁目　追間漁業部
一支配人ノ用ユヘキ商號　韓國北關ニ於タル一般漁業並ニ地所家屋ノ賣買建築及其ノ利用
一支配人ノ置キタル場所　韓國清津港
右明治四十年十一月二十七日登記ス

○産業組合登記

城津理事廳清津支廳

一監査役ノ氏名住所
右明治四十年十一月七日登記

富岡區裁判所立江出張所

産業組合登記變更登記
有限責任櫛淵村販賣購買組合登記左ノ通變更ス
一理事　那賀郡立江村大字櫛淵村五十番屋敷笠田字吉大字同村百八十番屋敷山本千代吉大字同村字湯谷百五番地板東篤
一監事　大字同村字間町二番地濱四稻生大字同村字中田十八番地瑞新平
右明治四十年十一月七日登記

明治四十年十一月十三日銀水購買組合臨時總會ニ於テ出資拂込ノ方法ヲ左ノ通變更ス
一第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ノ充ルモノヽ外毎年一月末及七月末ニ金八十五錢ヅヽ拂込ミ五箇年以内ニ全額ヲ拂込ムヘキモノトス
但シ組合員ノ都合ニヨリテハ數回若シクハ全額ヲ一時ニ拂込ムコトヲ得
右明治四十年十二月六日登記

柳河區裁判所三池出張所

無限責任中堂宿用組合登記事項中左ノ通變更ス
一監事任期滿了ニ付明治四十年十一月二十三日改選ノ結果左記ノ者當選就任ス
宮崎縣東諸縣郡紬村大字南俣二百二十五番戸　寺田　盛助
同縣同郡同村大字同二百十四番戸　上田　祐利
同縣同郡同村大字同百九十五番戸　井上次右衛門
右明治四十年十二月四日登記

宮崎區裁判所本莊出張所

蚕業組合役員變更登記　無限責任名護間切販賣購買宿用組合監事吉元榮順、岸本幸喜任期滿了ニ付改選ノ結果再選重任ス
右明治四十年十二月二日登記

那覇區裁判所名護出張所

無限責任青森家禽生蚕販賣組合登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十年十一月二十九日監事ニ竹内民藏、野村縣悟重任ス
右明治四十年十二月六日登記

青森區裁判所

○禁治産宣告

新潟縣西蒲原郡赤塚村大字坂田二十七番戸主平民　中野　與八
明治十五年九月二日生
右ニ對シ繼母中野、セトヽノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十年十一月二十九日禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十年十二月四日

三條區裁判所
判事　廣島一郎

香川縣大川郡富田村大字富田西二百三十三番戸　國分　有平
同所同番戸　國分　タケ
認メ禁治産ヲ宣告ス

右者香川縣大川郡富田村大字富田西二百三十三番戸國分直記ノ申請ニ因リ心神喪失ノ常況ニ在ル者ト
明治四十年十二月三日　高松區裁判所
判事　鶯地勉

○準禁治産宣告

德島縣阿波郡久勝村大字勝命村十三番屋敷平民農　宮本　正平
明治十七年十月一日生

右ハ同居妻アサノ申請ニ因リ浪費者ト認メ準禁治産ヲ宣告ス
明治四十年十二月三日　川島區裁判所
判事　渡邊衞

○公示催告

本籍及最後住所東京府荏原郡品川町大字南品川利田新地七番地　敏
不在者　上羽
右ニ對シ利害關係人上羽勝衛ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治十一年九月二十二日出生明治十一年六月十六日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十年十二月九日　東京區裁判所
判事　櫻根誠之助

千葉縣安房郡富浦村南無谷二十三百二十二番地一號戸主平民漁業　川名熊太郎
不在者　明治十年七月十四日生

同所同番地右熊太郎祖父
不在者　川名五平治　文化十四年八月四日生

右ニ對シ利害關係人金木久七ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十年六月十五日迄ニ當區裁判所ヘ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ルモノハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十年十二月七日　北條區裁判所
判事　佐瀨鎗四郎

千葉縣安房郡西岬村坂田二百六番地平民漁業　館石千太郎
不在者　明治十二年二月四日生

右ニ對シ戸主館石之助ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十一年六月十五日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十年十二月七日　北條區裁判所
判事　佐瀨鎗四郎

茨城縣鹿島郡夏海村大字成田百四十九番地平民農　小川憲四郎
不在者　慶應元年十一月三日生

右ニ對シ利害關係人小川精太郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十一年六月十五日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ルモノハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十年十二月六日　水戸區裁判所
判事　内林永成

右ニ對シ利害關係人金木久七ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十一年六月十六日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ルモノハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十年十二月三日　川島區裁判所
判事　渡邊衞

○公示催告

本籍及最後住所東京府荏原郡品川町大字南品川利田新地七番地　敏
不在者　上羽
右ニ對シ利害關係人上羽勝衛ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十一年九月二十二日出生明治四十一年六月十六日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十年十二月九日　東京區裁判所
判事　櫻根誠之助

千葉縣安房郡富浦村南無谷二十三百二十二番地一號戸主平民漁業　川名熊太郎
不在者　明治十年七月十四日生

同所同番地右熊太郎祖父
不在者　川名五平治　文化十四年八月四日生

右ニ對シ利害關係人金木久七ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十一年六月十五日迄ニ當區裁判所ヘ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ルモノハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十年十二月七日　北條區裁判所
判事　佐瀨鎗四郎

千葉縣安房郡西岬村坂田二百六番地平民漁業　館石千太郎
不在者　明治十二年二月四日生

右ニ對シ戸主館石之助ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十一年六月十五日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十年十二月七日　北條區裁判所
判事　佐瀨鎗四郎

茨城縣鹿島郡夏海村大字成田百四十九番地平民農　小川憲四郎
不在者　慶應元年十一月三日生

右ニ對シ同所實父工藤三五郎ノ申立ニ因リ當裁判所ハ明治四十年十二月七日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十年十二月七日　水戸區裁判所
判事　内林永成

○華族世襲財産解除

兵庫縣多紀郡城北村岡野村ノ内
一田合段別七段六歩
右子爵青山忠允所有ノ世襲財産明治四十年十一月二十九日解除セシ旨宮内大臣ヨリ通セラル
明治四十年十一月　兵庫縣

埼玉縣北足立郡中丸村大字北本宿十七番地平民　大島　總八
不在者　天保九年二月二十五日生

右ニ對シ利害關係人清水和三郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十一年七月九日午前八時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告ス又不在者ノ生死ヲ知ルモノハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十年十二月九日　浦和區裁判所
判事　山口二郎

愛知縣名古屋市宮出町壬五十四番戸　鈴木　乙彦
不在者　明治十三年三月八日生

右ニ對シ利害關係人愛知縣名古屋市宮出町壬五十四番戸當時同市車道町一番戸近藤鉄蔵方鈴木かきヨリ右不在者ニ對シ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十一年六月十五日マテニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ノ宣告ヲ受ク又不在者ノ生死ヲ知ルモノハ右期日マテニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十年十二月九日　名古屋區裁判所
判事　立入春太郎

○失踪宣告

最後住所東京府荏原郡調布村大字嶺三百二番地　鈴木　梅吉
不在者　慶應二年七月二十二日生

右ニ對シ利害關係人鈴木富次郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十年十二月四日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十年十二月四日　東京區裁判所
判事　櫻根誠之助

兵庫縣美方郡浦次村ノ内別宮村七番屋敷平民　西谷　文藏
不在者

右ニ對シ西谷いそノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十年十二月五日失踪宣告ヲ爲シタリ
明治四十年十二月五日　村岡區裁判所
判事　物集高村

鹿兒島縣出水郡阿久根村波留八十九番戸平民　小田原森藏
不在者　明治十六年十二月三日生

右ニ對シ實弟小田原紋兵衛ノ申立ニ依リ當區裁判所ハ明治四十年十二月六日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十年十二月六日　水引區裁判所
判事　長野祐之

青森縣南津軽郡猿賀村大字猿賀七十六番戸三五郎長男平民料理業　工藤孝之吉
不在者　明治元年四月十日生

右ノ者ニ對シ同所實父工藤三五郎ノ申立ニ因リ當裁判所ハ明治四十年十二月七日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十年十二月七日　弘前區裁判所
判事　小林順雄

○臺灣銀行券發行週報

臺灣銀行券發行每週平均高報告（自明治四十年十一月二十五日至明治四十年十一月三十日）

	九月三十日	十月三十一日	十一月七日	十一月十四日	十一月二十一日	十一月二十八日
銀貨及銀塊	四、四九五、四六一、六七〇	五、〇二一、九一五、五八〇	一、一〇三、二五〇、〇〇〇	二、九三九、〇八五、七五〇	四七八四、〇〇二、四二〇	
金貨及金塊						
準備金計						
公債證書						
政府證券						
商業手形						
保證金計						
銀行券發行高	四、四九五、四六一、六七〇	五、〇二一、九一五、五八〇	一、一〇三、二五〇、〇〇〇	二、九三九、〇八五、七五〇	四七八四、〇〇二、四二〇	
準備金保證						

明治四十年十二月三日

株式會社臺灣銀行

○東京郵便局外國郵便締切時限

明十三日神戸マテ汽車便送同地ヨリ博愛丸ヲ以テ上海經由南清地方ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

通常　東京局　十三日午後二時半　市内各局　十三日午前十一時半

通書　留　同日午後七時半　同　上

（備考）小包ハ清國（獨逸局所在地）宛萬國小包竝ニ威海衛寧波宛香港小包

同日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「リーメーン」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

通常　東京局　十三日午後七時半　市内各局　十三日午後五時半

書留　同日午後七時半　同　上

（備考）小包ハ西伯利及露國宛ノミ

同日午後九時半　同　上

（備考）小包ハ清國（獨逸局所在地）宛萬國小包

同日午後四

官報第七千三百三十八號附錄

○敍任及辭令

赤綬紫賜ノ項ニ「七級」トアルハ明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ功七級金鵄勳章並ニ年金百圓及勳八等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者又同項ニ「旭八等一五〇」トアルハ同シク勳八等白色桐葉章及金百五十圓ヲ授ケ賜ヒシ者又賜金ノ項ニ單ニ「五〇」トアルハ同シク金五十圓ヲ賜ヒシ者ナルモ卷帙浩瀚ニ渉ルヲ以テ其要略ノミヲ掲ク其他皆此例ニ倣フ

陸海軍軍人軍屬ニシテ前項ノ賞與ヲ受ケタル者ハ總テ明治三十七八年從軍記章ヲ授與セラル

○明治三十九年四月一日

賜	等	氏名	陸軍官等位勳功爵	氏名
金		陸軍官等位勳功爵	氏名	
金		二等獸醫從七位	守田 猪一郎	
紋賜	勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名	
紋賜	功級（旭七等）	元歩兵軍曹	小笠原 長俊	
紋賜	勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名	
金	旭八等 一〇〇	同	元歩兵一等卒	安太郎
金	同	同	歩兵二等卒	井上 仁太郎
金	同	同	同	上甲 安太郎
金	同	同	元歩兵一等卒	村上 清五郎
金	同	同	同	五頭 芳藏
金	同	同	元歩兵一等卒	吉田 三好
金	同	同	同	黑川 長次郎
金	同	同	輜重輜卒	清水與三右衛門
金	同	同	元歩兵一等卒	矢野 近藏
金	同	同	歩兵一等卒	新山 坂治郎
金	同	同	同	鉛木 寅之進
金	同	同	歩兵上等兵	合田 萬雄
金	同	同	元歩兵上等兵	久保 富衛
金	同	同	歩兵上等兵	高橋 八郎
金	同	同	歩兵二等卒	戒能 虎太郎
金	同	同	歩兵曹長	中山 浦吉
金	旭七等 一〇〇	同	歩兵伍長	三樹 吾一
金	同	同	砲兵一等卒	江原 伊平
金	同	同	元歩兵一等卒	熊倉 文吾
金	同	同	歩兵一等卒	渡邊 喜平
金	同	同	三等看護長	皆吉 末吉
金	瑞八等 八〇	同	砲兵輜卒	平 滿益
金	同	同	輜重輜卒	永瀨 助太郎
紋賜	勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名	
金	瑞八等 八〇	同	砲兵上等兵	土橋 玉作
金	同	同	同	仙川 太郎
金	同	同	輜重輜卒	添
金	同	同	同	高田 盛右衛門
金	同	同	歩兵伍長	伊知地 四郎
金	同	同	歩兵上等兵	中間 庄左衛門

賜	等	氏名	陸軍官等位勳功爵	氏名
金		同	歩兵一等卒	安里 亀保
金		同	同	田添 倉藏
金		同	輜重輜卒	中田 德松
金		同	同	宮崎 佐
金		同	砲兵輜卒	次郎 春益
金		同	同	岡本 太郎
金		同	元歩兵二等卒	飯干 朴
金		同	歩兵二等卒	吉原 榮治
金		同	元歩兵二等卒	三宅 榮太郎
金		同	輜重輜卒	島
金		同	歩兵上等兵	原 角一郎
金		同	輜重輜卒	一友
金		同	同	佐近 榮
金		同	元歩兵二等卒	東浦 太三郎
金		同	歩兵一等卒	近藤
金		同	元歩兵一等卒	杉浦 赫次郎
金		同	歩兵二等卒	堀内 新太郎
紋賜	勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名	
金	瑞八等 八〇	同	砲兵上等兵	坂本 淺
金	同	同	同	篠田 利平
金	同	同	砲兵一等卒	中島 喜三郎
金	同	同	同	田中 源次郎
金	同	同	同	高崎 壽三郎
金	同	同	同	能隅 伊勢松
金	同	同	同	久野 一松
金	同	同	同	眞鍋 久藏
金	同	同	同	内山田 松次郎
金	同	同	元砲兵一等卒	篠原 友吉
金	同	同	同	山中 太郎
金	同	同	砲兵一等卒	三代
紋賜	勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名	
金	旭六等 一〇〇	同	工兵伍長	城島 清三郎
金	同	同	工兵上等兵	姫野 恭太郎
金	同	同	同	前川 宗太郎
金	同	同	同	巽崎 輜市
金	同	同	砲兵二等卒	梁井 岩助
金	同	同	同	井手 觀
金	同	同	砲兵軍曹	池下 松
金	同	同	砲兵伍長	伊東 珂介
金	同	同	砲兵一等卒	原田 之衛
金	同	同	同	池口 岩助
金	同	同	砲兵助卒	櫛口
金	同	同	同	吉田 芳
金	同	同	同	田久保 藏太郎
金	同	同	同	榛安 麿太郎
金	同	同	同	木村 善
金	同	同	同	志 丑太郎
金	同	同	同	石 虎吉
金	同	同	同	鵜 太郎
金	同	同	同	敗田 時
金	同	同	同	見玉 今
金	同	同	同	佐藤 朝吉
金	同	同	同	林 治
金	同	同	高木	十一郎
金	同	同	同	勝八
金	同	同	柴田	三
金	同	同	上野	吾
金	同	同	同	端
金	同	同	砲兵二等卒	平
金	同	同	同	吾
金	同	同	同	端
金	同	同	同	彦
紋賜	勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名	
金	旭七等 一〇〇	同	歩兵上等兵	谷口 仁三郎
金	同	同	同	中島
金	同	同	同	西
金	同	同	同	井上
金	同	同	同	平川
金	同	同	同	坂本
金	同	同	同	熊谷
金	同	同	歩兵上等兵	金次郎
金	同	同	同	權
金	同	同	同	松
金	同	同	同	七
金	同	同	同	吉
金	同	同	同	壽
金	同	同	同	仁
金	同	同	同	吾
金	同	同	同	三
紋賜	勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名	
金	旭八等 一〇〇	同	歩兵上等兵	宮崎 富次郎
金	同	同	同	忠
金	同	同	同	次郎
金	同	同	同	和助
金	同	同	同	圧助
金	同	同	同	米太郎
金	同	同	同	信藏
金	同	同	同	末三
金	同	同	同	利勉
金	同	同	同	勝吉
紋賜	勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名	
金	旭六等 一〇〇	同	歩兵上等兵	今朝吉
金	同	同	同	時治
金	同	同	同	端太郎
金	同	同	同	彦吉
金	同	同	同	虎太郎
金	同	同	同	吉夫
金	同	同	同	善丑
金	同	同	同	太郎
金	同	同	同	慶吾
金	同	同	同	田久保
金	同	同	同	安太郎
金	同	同	同	芳
金	同	同	同	藏
金	同	同	同	珂介
金	同	同	同	之衛
金	同	同	同	岩助
金	同	同	同	觀
金	同	同	同	松
金	同	同	同	池下
金	同	同	同	梁井
金	同	同	同	巽崎
金	同	同	同	輜市
金	同	同	同	前川
金	同	同	同	姫野
金	同	同	同	恭太郎
金	同	同	同	清三郎
金	同	同	同	眞一
紋賜	勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名	
金	瑞八等 七〇	同	歩兵上等兵	城島 清市
金	同	同	同	前川 哲三
金	同	同	輜重輜卒	篠田 靜夫
金	同	同	砲兵一等卒	井上
金	同	同	同	山崎
金	同	陸軍官等位勳功爵	氏名	
金	同	同	輜重輜卒	原田
金	同	同	同	豐
金	同	同	歩兵一等卒	井堀
金	同	同	歩兵二等卒	金丸
金	同	同	同	由平
金	同	同	歩兵一等卒	新田 卯左衛門
金	同	同	同	水原 彌三郎
金	同	同	歩兵二等卒	八幸
金	同	同	同	江藤 休太郎
金	同	同	歩兵一等卒	和田 澤次郎
金	同	同	同	亞助
金	同	同	歩兵二等卒	吉村 安平
金	同	同	歩兵二等卒	吉田 俊光
金	同	同	同	上野 武
金	同	同	歩兵一等卒	山城 甚善
金	同	同	同	九八
金	同	同	歩兵一等卒	松尾 宗吉
金	同	同	同	小西
金	同	同	同	增地
金	同	同	歩兵一等卒	白石 清
金	同	同	同	橋本 安
金	同	同	歩兵一等卒	虎十郎 次
金	同	同	同	吉
金	同	同	歩兵一等卒	西上 善搭
金	同	同	同	上
金	同	同	歩兵一等卒	瓦關
金	同	同	同	之助
金	同	同	歩兵一等卒	藤田 新太郎
金	同	同	同	次郎
金	同	同	歩兵二等卒	高橋 庄藏
金	同	同	同	丸
金	同	同	元歩兵二等卒	石
金	同	同	歩兵二等卒	水谷 嘉太郎
金	同	同	歩兵上等兵	井上 壽吉
金	同	同	歩兵二等卒	中村 七五郎
金	同	同	同	柳
金	同	同	歩兵二等卒	山本 四郎
金	同	同	同	佐々 惣七
金	同	同	歩兵一等卒	水圓
金	同	同	同	中野 初太郎
金	同	同	歩兵二等卒	伊藤 七郎
金	同	同	同	興吉
金	同	同	歩兵一等卒	今村 常吉
金	同	同	同	伊東 清吉
金	同	同	歩兵二等卒	中山 三郎
金	同	同	同	村田 文
金	同	同	歩兵一等卒	宮田 房輔
紋賜	勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名	
金	瑞八等 七〇	同	看病人	吉本 山本 芳作
金	同	同	同	齊藤

第7338号 敍任及辭令

敍任及辭令

同	陸軍官等位勳功爵	氏名	賜金
同	同	石川豐勳	同
同	同	富田潔	同
同	同	江島高太郎	同
同	同	京太郎	同
同	同	長三郎	同
同	同	高前次郎	同
同	同	吉太郎	同
同	同	豊太郎	同
同	同	下島	同
同	同	武市	同
同	同	荒川恩七郎	同
同	同	音治郎	同
同	同	西ノ井榮吉	同
同	同	淺治郎	同
同	同	内山末吉	同
同	同	右衛門	同
同	同	喜右衛門	同
同	同	坂垣	同
同	同	永富吉	同
同	同	武島	同
同	同	伊助	同
同	同	平田	同
同	同	重太郎	同
同	同	米澤	同
同	同	魚八造	同
同	同	小林	同
同	同	櫛口	同
同	同	岩橋	同
同	同	高三郎	同
同	同	長三郎	同
同	同	京太郎	同
同	同	次郎	同
同	同	豊太郎	同
同	同	吉太郎	同
同	同	才助	同
同	同	羽田野	同
同	同	鹿田	同
同	同	春太郎	同
同	同	熊谷	同
同	同	柴太郎	同
同	同	國五郎	同
同	同	周藏	同
同	同	仁一郎	同
同	同	菊太郎	同
同	同	市太郎	同
同	同	武市	同
同	同	林治郎	同
同	同	稲岡	同
同	同	宮武	同
同	同	田村	同
同	同	猪一郎	同
同	同	小柳	同
同	同	辻田	同
同	同	愛治	同
同	同	幸助	同
同	同	提田	同
同	同	中野	同
同	同	宮内	同
同	同	右衛門	同
同	同	健次郎	同
同	同	杉山	同
同	同	次郎	同
同	同	德次郎	同
同	同	高木	同
同	同	山田	同
同	同	加藤	同
同	同	增島	同
同	同	山下	同
同	同	彌三郎	同
同	同	芳平	同
同	同	音平	同
同	同	衛藤	同
同	同	佐藤	同
同	同	松次郎	同
同	同	喜藏	同
同	同	歌藏	同
同	同	石井	同
同	同	豊勳	同
同	同	若龍	同
同	同	竹次郎	同
同	同	留吉	同
同	同	林	同
同	同	藤次郎	同
同	同	秀三	同
同	同	平	同
同	同	齋藤	同
同	同	小野	同
同	同	直平	同
同	同	中四郎	同
同	同	兼吉	同

同	陸軍官等位勳功爵	氏名	賜金
同	同	若龍	同
同	同	留吉	同
同	同	林	同
同	同	秀三郎	同
同	同	藤松	同
同	同	幸雄	同
同	同	岡本	同
同	同	武宮	同
同	同	瀧藏	同
同	同	久太郎	同
同	同	土田	同
同	同	堀之內	同
同	同	竹十郎	同
同	同	矢田	同
同	同	馬平	同
同	同	坂上	同
同	同	芳太郎	同
同	同	末熊	同
同	同	境	同
同	同	藤原	同
同	同	新吾郎	同
同	同	此元	同
同	同	山岸	同
同	同	喜之助	同
同	同	本田正	同
同	同	小三郎	同
同	同	友三郎	同
同	同	淺田	同
同	同	本田	同
同	同	古山	同
同	同	察造	同
同	同	藤林	同
同	同	勞松	同
同	同	大原	同
同	同	川畑	同
同	同	亀治郎	同
同	同	亥之助	同
同	同	大太郎	同
同	同	文之助	同
同	同	由太郎	同
同	同	藏一	同
同	同	岡口	同
同	同	山口	同
同	同	井上	同
同	同	橋本	同
同	同	山田	同
同	同	定次郎	同
同	同	龜松	同
同	同	川勝	同
同	同	機虎吉	同
同	同	長澤	同
同	同	中村	同
同	同	津賀	同
同	同	定次郎	同
同	同	治喜助	同
同	同	中喜助	同
同	同	中四郎	同
同	同	兼吉	同

同	陸軍官等位勳功爵	氏名	賜金
同	同	竹次郎	同
同	同	留吉	同
同	同	林	同
同	同	藤次郎	同
同	同	秀三	同
同	同	平	同
同	同	齋藤	同
同	同	小野	同
同	同	直平	同
同	同	中四郎	同
同	同	兼吉	同

同	陸軍官等位勳功爵	氏名	賜金
同	同	若龍	同
同	同	林	同
同	同	留吉	同
同	同	次郎	同
同	同	藤	同
同	同	秀三郎	同
同	同	藤松	同
同	同	幸雄	同
同	同	岡本	同
同	同	武宮	同
同	同	瀧藏	同
同	同	久太郎	同
同	同	土田	同
同	同	堀之內	同
同	同	竹十郎	同
同	同	矢田	同
同	同	馬平	同
同	同	坂上	同
同	同	芳太郎	同
同	同	末熊	同
同	同	境	同
同	同	藤原	同
同	同	新吾郎	同
同	同	此元	同
同	同	山岸	同
同	同	喜之助	同
同	同	本田正	同
同	同	小三郎	同
同	同	友三郎	同
同	同	淺田	同
同	同	本田	同
同	同	古山	同
同	同	察造	同
同	同	藤林	同
同	同	勞松	同
同	同	大原	同
同	同	川畑	同
同	同	亀治郎	同
同	同	亥之助	同
同	同	大太郎	同
同	同	文之助	同
同	同	由太郎	同
同	同	藏一	同
同	同	岡口	同
同	同	山口	同
同	同	井上	同
同	同	橋本	同
同	同	山田	同
同	同	定次郎	同
同	同	龜松	同
同	同	川勝	同
同	同	機虎吉	同
同	同	長澤	同
同	同	中村	同
同	同	津賀	同
同	同	定次郎	同
同	同	治喜助	同
同	同	中喜助

故歩兵二等卒勲八等小見山邸太郎父
小見山鹿次郎父
同　高田武一郎父
故歩兵上等兵勲八等功七級藤原信市父
高田俊太郎父
同　藤原常太郎父
故歩兵上等兵勲八等功七級秋山助十郎妻
故歩兵一等卒勲七等功七級秋山梅
同　關本官三郎女キノ
同　機附幸四郎妻
故歩兵軍曹勲七等佐々木市助男
故歩兵伍長勲七等山本三平父
故歩兵一等卒勲八等功七級杉本穩太郎
同　桑田喜太郎父
故歩兵上等兵勲八等吉富治次郎父
故歩兵上等兵勲八等清川嘉助男
故歩兵一等卒勲七等佐藤松助女
故歩兵一等卒勲八等三藤喜代吉父
同　淺沼重五郎妻
同　土山孫四郎父
同　土山機次郎
同　小梶繪造兄
同　佐藤關治父
同　寺戸末松父
故歩兵二等卒勲八等佐川千吉父
同　高見鶴太郎父
同　田中武八父
故歩兵二等卒檪山秀三郎父
同　櫛田重太郎弟
同　櫛田嘉太郎母
故歩兵二等卒勲八等新川武市父
故歩兵一等卒勲八等新川源六
故輜重輸卒勲八等箱崎治右衛門
故歩兵一等卒服部鞠助父服部種次郎
故輜重兵上等兵勲七等功七級村上貝一郎父
故歩兵一等卒勲八等功七級西本勝八父
故輜重輸卒勲八等功七級藏內與四郎父
故輜重輸卒勲八等岡村源太郎母ナヲ
岡村德藏
故歩兵二等卒土山鶴四郎父
故歩兵軍曹勲七等佐々木市助男
故歩兵伍長勲七等山本三平父
同　桑田喜太郎父
故歩兵上等兵吉富治次郎父
故歩兵上等兵勲八等清川嘉助男
故歩兵一等卒勲七等佐藤松助女
故歩兵一等卒勲八等三藤喜代吉父
同　淺沼重五郎妻
同　淺沼孫四郎父
同　土山機次郎
同　小梶繪造兄
同　佐藤關治父
同　寺戸末松父
故歩兵二等卒勲八等佐川千吉父
同　高見鶴太郎父
同　田中武八父
故歩兵二等卒檪山秀三郎父
同　櫛田重太郎弟
同　櫛田嘉太郎母
故歩兵二等卒勲八等新川武市父
故歩兵一等卒勲八等新川源六
故輜重輸卒勲八等箱崎治右衛門
故歩兵一等卒服部鞠助父服部種次郎
故歩兵一等卒村佐兵衛男
故歩兵一等卒勲七等藤田孫市男
同　安田倉治男
同　泰三
故歩兵一等卒勲八等富原新四郎父
富原淺平
故歩兵一等卒勲七等津田勘吉母
津田ナツ
故歩兵一等卒勲八等近藤昌一弟
平谷清次郎妻
同　平谷ウメノ
永井圧八父
永井與八
故歩兵一等卒藤井清作妻シナ
故泰元助兄
泰倉吉
故歩兵一等卒勲八等揚田榮藏父
揚田甚七
故歩兵大尉正七位勲五等功五級板持國太郎父
故歩兵一等卒勲八等功七級板持國十郎
故歩兵軍曹長勲七等功七級細田關五郎兄
細田暎芳
故歩兵軍曹勲七等下岸小三郎父
下岸政平
故歩兵軍曹勲七等功七級松下新吉男
故歩兵軍曹長勲七等功七級松下義弐
故歩兵軍曹勲七等功七級生賓信治郎男
生賓武夫
同　富田正十郎兄
富田市藏
故歩兵軍曹勲七等功七級橋本幸之進
橋本
同　角時之助女
角
故歩兵軍曹長勲七等安井關助兄
安井
同　安井藏四郎
故歩兵軍曹勲七等桐原五八女
桐原
故歩兵伍長勲七等西原友藏男
西原
故歩兵伍長勲八等宇高美之作妻
宇高
故歩兵伍長勲七等山田嘉作男
山田
故歩兵伍長勲七等功七級三宅辨次郎父
三宅
故歩兵伍長勲八等功六級小笠原多作父
小笠原清作
故歩兵伍長勲八等高橋源三郎男
高橋光夫

故歩兵二等卒繁田村治父
繁田芳吉
同　江本仁平母
江本
故歩兵少佐正六位勲五等功五級安原正雄妻
安原
同　安田治男
故歩兵一等卒勲八等富原淺平
富原
故歩兵一等卒勲七等津田勘吉母
津田
故歩兵一等卒勲八等近藤昌一弟
近藤
同　平谷清次郎妻
平谷
同　平谷ウメノ
永井圧八父
永井與八
故歩兵一等卒藤井清作妻シナ
故泰元助兄
泰倉吉
故歩兵一等卒勲八等揚田榮藏父
揚田甚七
故歩兵大尉正七位勲五等功五級板持國太郎父
故歩兵一等卒勲八等功七級板持國十郎
故歩兵軍曹勲七等下岸小三郎父
下岸政平
故歩兵軍曹勲七等功七級松下新吉男
故歩兵軍曹長勲七等功七級松下義弐
故歩兵軍曹長勲七等功七級生賓信治郎男
生賓武夫
同　富田正十郎兄
富田市藏
故歩兵軍曹勲七等功七級橋本幸之進
橋本
同　角時之助女
角
故歩兵軍曹長勲七等安井關助兄
安井
同　安井藏四郎
故歩兵軍曹勲七等桐原五八女
桐原
故歩兵伍長勲七等西原友藏男
西原
故歩兵伍長勲八等宇高美之作妻
宇高
故歩兵伍長勲七等山田嘉作男
山田
故歩兵伍長勲七等功七級三宅辨次郎父
三宅
故歩兵伍長勲八等功六級小笠原多作父
小笠原清作
故歩兵伍長勲八等高橋源三郎男
高橋光夫

故歩兵上等兵勲七等向井百太郎弟
向井清一
故歩兵上等兵勲八等鳳谷十太郎男
鳳谷
同　鳳谷雄一
同　川石吉松男
川石
故歩兵上等兵勲七等黑田真八男
黑田
同　中村歐之助男
故歩兵上等兵勲八等功七級小西友次郎男
小西
故歩兵上等兵勲七等川崎茂左衛門男
川崎
同　新谷民吉妻
新谷
同　北本德次郎男
北本
同　北本定一
同　五藤孫太郎妻
五藤
同　井町鶴松男
井町
故歩兵上等兵勲七等國廣末吉男
國廣
（各通）
故歩兵上等兵勲八等岡野和一
岡野
故歩兵上等兵勲八等岡野品次母
岡野
故歩兵上等兵勲七等功七級井上治作男
井上
故歩兵上等兵勲八等鈴木萬四郎父
鈴木
故歩兵上等兵勲七等小澤清太男
小澤
同　藤井久吉妻
藤井
故歩兵上等兵勲八等渡邊繁十郎男
渡邊
故歩兵上等兵勲八等藤井松太郎弟
藤井
故歩兵上等兵勲七等保上秀吉男
保上
同　藤原甚四郎男
藤原
同　古川豊四郎男
古川
故歩兵上等兵勲七等功七級內田鏈市父
內田
同　井木榮吉男
井木
故歩兵上等兵勲七等服部紹太父
服部
故歩兵上等兵勲八等佐々木多吉男
佐々木
故歩兵上等兵勲七等向井百太郎弟
向井
故歩兵上等兵勲八等鳳谷十太郎男
鳳谷
同　鳳谷雄一
同　川石吉松男
川石
故歩兵上等兵勲七等黑田真八男
黑田
同　中村歐之助男
故歩兵上等兵勲八等功七級小西友次郎男
小西
故歩兵上等兵勲七等川崎茂左衛門男
川崎
同　新谷民吉妻
新谷
同　北本德次郎男
北本
同　北本定一
同　五藤孫太郎妻
五藤
同　井町鶴松男
井町
故歩兵上等兵勲七等國廣末吉男
國廣
（各通）
故歩兵上等兵勲八等岡野和一
岡野
故歩兵上等兵勲八等岡野品次母
岡野
故歩兵上等兵勲七等功七級井上治作男
井上
故歩兵上等兵勲八等鈴木萬四郎父
鈴木
故歩兵上等兵勲七等小澤清太男
小澤
同　藤井久吉妻
藤井
故歩兵上等兵勲八等渡邊繁十郎男
渡邊
故歩兵上等兵勲七等保上秀吉男
保上
同　藤原甚四郎男
藤原
同　古川豊四郎男
古川
故歩兵上等兵勲八等內田鏈市父
內田
同　井木榮吉男
井木
故歩兵上等兵勲七等服部紹太父
服部
故歩兵上等兵勲八等佐々木多吉男
佐々木
故歩兵上等兵勲七等功七級內田鏈市父
內田
同　井木榮吉男
井木
故歩兵上等兵勲八等藤井龜次郎男
藤井
同　山本慶太郎父
山本

故輜重輜卒川津清次郎妻
同　川津セサノ
同　吉岡太三郎父
同　吉岡三郎母
故輜重輜卒勳八等骨田林一父
同　櫃口喜次郎父
同　櫃口貞吉
同　岡篠太郎
同　森本金藏父
同　森元文吉父
同　森元岩吉
同　吉原利市父
同　吉原周吉
同　濱本青藏妻
同　濱本フイ
同　藤井武八父
同　藤井勝右衛門
同　大背戸平次郎妻
同　大背戸マツノ
同　藤井要
同　井丸勇助父
同　井丸千代吉
同　幸田作一母
同　幸田マス
故輜重輜卒勳八等岡七母タカ
同　中山米一父
同　中山繁太
同　松田倍一父
同　松田政太郎
同　沖本利一父
同　沖本助七
同　栗栖初吉父
同　栗栖重枝
同　櫃田清一父
同　櫃田久次郎
同　千日仁一父
同　千日吹藏
同　松本嘉太郎母
同　松本もよ
同　眞壁順平父
同　眞壁敬
同　古屋徳父
同　古屋富太郎
同　藤井米一郎父
同　藤井源次郎
同　福上熊太郎父
同　福上勝藏
同　是重林一父
同　是重市兵衛
故輜重輜卒勳八等池藤與市父
同　池藤柳助
故輜重輜卒空田增次郎妻
同　空田トモヨ
同　油木小市父
同　油木初五郎
同　寺本重藏妻
同　寺本クニ
同　栗原英一父
同　栗原多作
故輜重輜卒勳八等湯野唯治男
同　湯野タニ
同　岡田鹿樓母
同　岡田タカ
故輜重輜卒樽本甚太父
同　樽本政吉

故輜重輜卒山田豐太郎妻
同　山田セキ
故輜重輜卒勳八等骨田林一父
同　骨田ヒサノ
同　岡篠太郎
同　山本常三郎父
同　山本元三郎
同　藤原流市父
同　藤原松五郎
同　伊達若松父
同　伊達千藏
同　櫃口貞吉
同　三宅松之助父
同　三宅片次郎
同　櫃口喜次郎父
同　櫃口貞吉
同　森本金藏父
同　森元文吉父
同　森元岩吉
同　吉原利市父
同　吉原周吉
同　濱本青藏妻
同　濱本フイ
同　藤井武八父
同　藤井勝右衛門
同　大背戸平次郎妻
同　大背戸マツノ
同　藤井要
同　井丸勇助父
同　井丸千代吉
同　幸田作一母
同　幸田マス
故輜重輜卒勳八等岡七母タカ
同　中山米一父
同　中山繁太
同　松田倍一父
同　松田政太郎
同　沖本利一父
同　沖本助七
同　栗栖初吉父
同　栗栖重枝
同　櫃田清一父
同　櫃田久次郎
同　千日仁一父
同　千日吹藏
同　松本嘉太郎母
同　松本もよ
同　眞壁順平父
同　眞壁敬
同　古屋徳父
同　古屋富太郎
同　藤井米一郎父
同　藤井源次郎
同　福上熊太郎父
同　福上勝藏
同　是重林一父
同　是重市兵衛
故輜重輜卒勳八等池藤與市父
同　池藤柳助
故輜重輜卒空田增次郎妻
同　空田トモヨ
同　油木小市父
同　油木初五郎
同　寺本重藏妻
同　寺本クニ
同　栗原英一父
同　栗原多作
故輜重輜卒勳八等湯野唯治男
同　湯野タニ
同　岡田鹿樓母
同　岡田タカ
故輜重輜卒樽本甚太父
同　樽本政吉

故輜重輜卒勳太郎妻
同　豐太
故輜重輜卒勳八等骨田林一父
同　櫃口喜次郎父
同　櫃口貞吉
同　岡篠太郎
同　森本金藏父
同　森元文吉父
同　森元岩吉
同　吉原利市父
同　吉原周吉
同　濱本青藏妻
同　濱本フイ
同　藤井武八父
同　藤井勝右衛門
同　大背戸平次郎妻
同　大背戸マツノ
同　藤井要
同　井丸勇助父
同　井丸千代吉
同　幸田作一母
同　幸田マス
故輜重輜卒勳八等岡七母タカ
同　中山米一父
同　中山繁太
同　松田倍一父
同　松田政太郎
同　沖本利一父
同　沖本助七
同　栗栖初吉父
同　栗栖重枝
同　櫃田清一父
同　櫃田久次郎
同　千日仁一父
同　千日吹藏
同　松本嘉太郎母
同　松本もよ
同　眞壁順平父
同　眞壁敬
同　古屋徳父
同　古屋富太郎
同　藤井米一郎父
同　藤井源次郎
同　福上熊太郎父
同　福上勝藏
同　是重林一父
同　是重市兵衛
故輜重輜卒勳八等池藤與市父
同　池藤柳助
故輜重輜卒空田增次郎妻
同　空田トモヨ
同　油木小市父
同　油木初五郎
同　寺本重藏妻
同　寺本クニ
同　栗原英一父
同　栗原多作
故輜重輜卒勳八等湯野唯治男
同　湯野タニ
同　岡田鹿樓母
同　岡田タカ
故輜重輜卒樽本甚太父
同　樽本政吉

故輜重輜卒勳八等骨田林一父
同　櫃口喜次郎父
同　櫃口貞吉
同　岡篠太郎
同　森本金藏父
同　森元文吉父
同　森元岩吉
同　吉原利市父
同　吉原周吉
同　濱本青藏妻
同　濱本フイ
同　藤井武八父
同　藤井勝右衛門
同　大背戸平次郎妻
同　大背戸マツノ
同　藤井要
同　井丸勇助父
同　井丸千代吉
同　幸田作一母
同　幸田マス
故輜重輜卒勳八等岡七母タカ
同　中山米一父
同　中山繁太
同　松田倍一父
同　松田政太郎
同　沖本利一父
同　沖本助七
同　栗栖初吉父
同　栗栖重枝
同　櫃田清一父
同　櫃田久次郎
同　千日仁一父
同　千日吹藏
同　松本嘉太郎母
同　松本もよ
同　眞壁順平父
同　眞壁敬
同　古屋徳父
同　古屋富太郎
同　藤井米一郎父
同　藤井源次郎
同　福上熊太郎父
同　福上勝藏
同　是重林一父
同　是重市兵衛
故輜重輜卒勳八等池藤與市父
同　池藤柳助
故輜重輜卒空田增次郎妻
同　空田トモヨ
同　油木小市父
同　油木初五郎
同　寺本重藏妻
同　寺本クニ
同　栗原英一父
同　栗原多作
故輜重輜卒勳八等湯野唯治男
同　湯野タニ
同　岡田鹿樓母
同　岡田タカ
故輜重輜卒樽本甚太父
同　樽本政吉

故輜重輜卒勳八等骨田林一父
同　櫃口喜次郎父
同　櫃口貞吉
同　岡篠太郎
同　森本金藏父
同　森元文吉父
同　森元岩吉
同　吉原利市父
同　吉原周吉
同　濱本青藏妻
同　濱本フイ
同　藤井武八父
同　藤井勝右衛門
同　大背戸平次郎妻
同　大背戸マツノ
同　藤井要
同　井丸勇助父
同　井丸千代吉
同　幸田作一母
同　幸田マス
故輜重輜卒勳八等岡七母タカ
同　中山米一父
同　中山繁太
同　松田倍一父
同　松田政太郎
同　沖本利一父
同　沖本助七
同　栗栖初吉父
同　栗栖重枝
同　櫃田清一父
同　櫃田久次郎
同　千日仁一父
同　千日吹藏
同　松本嘉太郎母
同　松本もよ
同　眞壁順平父
同　眞壁敬
同　古屋徳父
同　古屋富太郎
同　藤井米一郎父
同　藤井源次郎
同　福上熊太郎父
同　福上勝藏
同　是重林一父
同　是重市兵衛
故輜重輜卒勳八等池藤與市父
同　池藤柳助
故輜重輜卒空田增次郎妻
同　空田トモヨ
同　油木小市父
同　油木初五郎
同　寺本重藏妻
同　寺本クニ
同　栗原英一父
同　栗原多作
故輜重輜卒勳八等湯野唯治男
同　湯野タニ
同　岡田鹿樓母
同　岡田タカ
故輜重輜卒樽本甚太父
同　樽本政吉

特 7338 号
教任及辭令

同 長久節男
故歩兵伍長勳八等功七級吉富喜之助兄 嘉
故歩兵曹長勳七等功七級吉富市松父
故歩兵軍曹勳七等功七級石川住一父
故歩兵軍曹勳七等功七級吉武安一父
同 吉武善五郎
齊藤臣次郎父
齊藤又左衛門
故歩兵伍長勳七等功七級大田五郎一兄 清七
故歩兵軍曹勳七等功七級松岡孝弐父 健藏
故歩兵伍長勳八等功七級松富梶藏父 源吉
故歩兵伍長勳八等岡村早熊父 岡村茂左衛門
同 田中真治郎母 リキ
故歩兵軍曹勳七等功七級重岡桑作弟 重岡 儀助
同 阿武吉松父 阿武 鶴松
故歩兵伍長勳七等功七級林佐市兄 林 宇市
故歩兵伍長勳七等吉永康太郎父 吉永 多三郎
同 河岡長右衛門父 河岡 佐太郎
故歩兵軍曹勳七等功七級柳井敬衛女 節
（各通）
故歩兵伍長勳八等功七級山本米吉母 山本 ヤス
故歩兵伍長勳七等功七級渡邊勇藏妻 渡邊 ツヲ
故歩兵伍長勳八等功七級松尾友之進父 松尾 長五郎
故歩兵曹長勳七等功七級高橋信次弟 高橋 源彦
故歩兵軍曹勳七等功七級渡邊桑輔女 渡邊 勝子
同 朝枝寛 マキ
宮田伊兵衛父 宮田 藤五郎
同 谷國唯一 耕一
同 山下靜一郎 泰二
加藤徳三郎父 加藤 和三郎
同
故歩兵伍長勳七等吉武升太母 吉武 ツヤ
故歩兵伍長勳七等功七級藤山仁三郎父 藤山 平吉

同 新田雅太郎兄
同 新田 由治郎
高嶺伊太郎妻 高嶺 イト
故歩兵曹長勳七等功七級久保市兵衛妻 久保 ハル
故歩兵軍曹勳七等功七級山縣要母 山縣 ツル
故歩兵曹長勳七等功七級黒澤多治郎兄 黒澤 市太郎
故歩兵伍長勳七等功七級德永又五郎兄 德永 常右衛門
同 佐田源作父 佐田 才治郎
同 松永泰藏祖父人 松永 サヨノ
同 伊藤金五郎父 伊藤 五三郎
故歩兵伍長勳八等功七級藤永光右衛門父 藤永 清右衛門
故歩兵伍長勳七等功七級丸山源助妻 丸山 ユリノ
故歩兵軍曹勳七等功七級松本要助父 松本 民次郎
故歩兵伍長勳八等功七級秋本昌雄父 秋本 榮次郎
故歩兵軍曹勳七等功七級中原金藏父 中原 金八
故歩兵伍長勳八等功七級平岡類二父 平岡 深藏
故歩兵伍長勳七等功七級杉田藤吉父 杉田 政吉
故歩兵伍長勳七等岩田軍一弟 岩田 爲治
同 吉岡恒熊父 吉岡 幸之進
故歩兵軍曹勳七等功七級志賀藤弐母 志賀 サカ
故歩兵曹長勳七等功七級松田米太郎男 松田 壽
故歩兵伍長三島小四郎妻 三島 ツル
故歩兵伍長勳七等功七級林六右衛門兄 林 千代松
故歩兵伍長勳七等森脇猶太郎父 森脇 梅次郎
故歩兵伍長勳七等功七級丸山太作妻 丸山 タケ
故歩兵軍曹勳七等功七級岡村卯一父 岡村 寅藏
故歩兵伍長勳八等功七級藤井亀助父 藤井 彌次郎
故歩兵軍曹勳七等木藤虎組父 木藤 甚吉

故歩兵曹長勳七等功七級下井捨父 下井 利右衛門
故歩兵軍曹勳七等田村政右衛門男 田村 孫弐
故歩兵伍長勳八等功七級重本千代藏妹 重本 ヒテ
故歩兵伍長勳八等植木恒之進父 植木 豐吉
故歩兵伍長勳七等功七級千治松恒一妻 千治松 ムツ
故歩兵一等卒田邊種一父 田邊 八五郎
故歩兵一等卒勳八等功七級田中昌太郎父 田中 岩藏
故歩兵一等卒勳八等水岡長造母 水岡 フサ
故歩兵上等兵勳八等德田恒吉妹 德田 ヒサ
故歩兵上等兵勳七等功七級神鄕吉藏父 神鄕 庄藏
故歩兵一等卒勳八等中本榛吉父 中本 育吉
故輜重兵一等卒勳八等池永唯一父 池永 儀吉
故歩兵上等兵勳八等石田五一父 石田 勘藏
故歩兵一等卒勳八等伊藤爲右衛門父 伊藤 和右衛門
故歩兵一等卒勳八等功七級井上治一父 井上 彌三郎
同 伊妻四方八父 伊妻 作右衛門
故歩兵一等卒勳七等石津藏藏母 石津 ツイ
故歩兵一等卒勳八等岩政伊五郎妻 岩政 ナカ
同 伊藤勇次郎父 伊藤 兵吉
故歩兵一等卒勳八等功七級井上文太父 井上 勘兵衛
故歩兵一等卒勳八等板村世太郎父 板村 幸吉
同 池部惣太郎父 池部 龜松
故歩兵上等兵勳七等功七級磯部竹千代兄 磯部 貫之助
故歩兵一等卒磯部音吉父 磯部 金藏
故歩兵上等兵勳八等功七級藏田伊三郎父 藏田 彌三郎
故歩兵二等卒勳八等岩立豐介兄 岩立 廣藏

同 伊藤政藏母 伊藤 ツイ
故歩兵上等兵石川末松父 石川 三藏
故歩兵上等兵勳八等功七級石田仁八父 石田 德三郎
故歩兵一等卒勳八等磯部常三父 磯部 常吉
同 岩本直治郎妻 岩本 タツ
同 伊本藏太郎父 伊本 德五郎
故歩兵一等卒勳八等功七級池田勘一弟 池田 喜藏
故歩兵一等卒勳七等功七級石村福次郎兄 石村 岡次郎
故歩兵一等卒勳八等池田彌一母 池田 サト
同 岩田藤兵衛兄 岩田 林吉
故歩兵一等卒勳八等功七級伊藤茂一父 伊藤 宮熊
故歩兵一等卒勳八等井上辰五郎女 井上 ヒサコ
同 石田長右工門父 石田 福松
故歩兵上等兵勳八等功七級井上政一父 井上 八重藏
生田市造母 生田 ミト
同
故歩兵上等兵勳八等井上喜作父 井上 亀松
故歩兵一等卒勳八等今津幸吉母 今津 トリ
故歩兵上等兵勳八等功七級石丸喜一母 石丸 タマ
故輜重輸卒勳八等伊藤恵右衛門祖父 伊藤 梅吉
故歩兵一等卒勳八等糸藤菊一母 糸藤 トラ
同 井上直一父 井上 佐助
同 岩本万吉父 岩本 權藏
同 市川爲藏父 市川 之進
同 石川徳吉母 石川 ツイ
同 石田新吉父 石田 傳七
同 石川慈左衛門父 石川 市藏
故歩兵一等卒伊藤鶴吉父 伊藤 龜吉

前回文（以上三十九年四月一日賞勳局）

特 7338 号
特許及雜件